

このたびは、マツダ車をお買いあげいただき、ありがとうございます。

本書は、安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、マツダコネク트의正しい取り扱いについて説明しています。ご使用前に必ずお読みください。

発行元 **マツダ株式会社**
〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地 3-1

・仕様変更などにより、本書の内容の一部がお車と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- ・グレードの仕様により異なる装備については「グレード/仕様別装備」をつけています。
- ・マツダ販売店で取り付けられた装備品は、付属の取扱説明書をご覧ください。

©2024 マツダ株式会社
発行 2024 年 8 月 (2 版)

本書の見方

安全にお車を使用していただくために守っていただきたいことを、下記の表示で区分して記載しています。これらは重要ですので、必ず読んでお守りください。

警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負う可能性のあるもの

注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負ったりお車の損傷につながったりする可能性のあるもの

知識

- ・ 知っておいていただきたいこと
- ・ 知っておくと便利なこと

イラストで表現している内容の禁止を意味しています。



目次

概要

1

基本機能

2

その他機能

3

トラブル

4

さくいん

5

詳細目次

1 概要

マツダコネクトとは? 1-2

マツダコネクトとは?.....1-2

基本操作 1-6

基本操作..... 1-6

コマンダースイッチによる操作.....1-7

オーディオリモートコントロール
スイッチによる操作..... 1-10

音声認識機能による操作..... 1-12

お気に入り.....1-15

マツダコネクトをご使用の前に..... 1-21

2 基本機能

情報 2-2

i-DM..... 2-2

燃費モニター..... 2-3

車両ステータスマニター..... 2-8

オーディオ 2-10

オーディオ..... 2-10

交通情報..... 2-21

FM..... 2-23

AM..... 2-27

Bluetooth®..... 2-31

USB1 Audio/USB2 Audio..... 2-37

USB1 Video/USB2 Video.....2-45
TV..... 2-51

コミュニケーション 2-57

コミュニケーション..... 2-57

Bluetooth®ハンズフリー.....2-58

ナビゲーション 2-79

ナビゲーション.....2-79

設定 2-80

設定..... 2-80

通信 / モバイル機器連携.....2-83

3 その他機能

Apple CarPlay 3-2

Apple CarPlay..... 3-2

Android Auto™ 3-6

Android Auto™..... 3-6

4 トラブル

トラブルシューティング 4-2

トラブルシューティング..... 4-2

MEMO

1

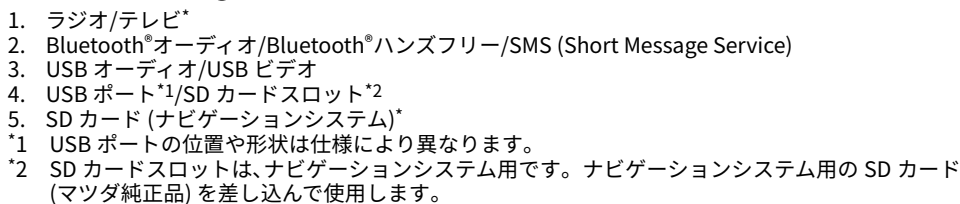
概要

マツダコネクトとは?.....	1-2
マツダコネクトとは?.....	1-2

基本操作.....	1-6
基本操作.....	1-6
コマンダースイッチによる操 作	1-7

オーディオリモートコントロール スイッチによる操作.....	1-10
音声認識機能による操作.....	1-12
お気に入り.....	1-15
マツダコネクトをご使用の前 に	1-21

マツダコネクトとは？



No.	メニュー	内容
(1)	情報	<u>i-DM:</u> i-DM のスコアや運転操作傾向が確認できます。 <u>燃費モニター:</u> 走行中の燃費推移や効果の確認ができます。 <u>車両ステータスモニター:</u> 車両ステータス情報が確認できます。
(2)	オーディオ	交通情報 FM AM Bluetooth USB1 Audio/USB2 Audio USB1 Video/USB2 Video Alexa* スマートフォン連携*/Apple CarPlay*/Android Auto* TV* オーディオ OFF
(3)	通知一覧	マツダコネクトと接続した携帯機器や Alexa*、車両からのお知らせを表示します。 件数を表示し、100 件以上あるときは、「99+」と表示します。重大故障が発生しているときは、背景が橙色または赤色になります(一部車種のみ表示されます)。
(4)	コミュニケーション	スマートフォンなどの携帯機器とマツダコネクトを Bluetooth®で接続することで、ハンズフリー通話やショートメッセージ機能をご利用いただけます。
(5)	ナビゲーション	ナビゲーションシステム用 SD カードが差し込まれている場合に、ナビゲーションシステムが使用できます(ナビゲーションシステム装備車)。 ナビゲーションシステム用 SD カードが差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。コンパスは、車両停車時、または低速走行時には、正しい方位を示さない場合があります。 ナビゲーションシステムの操作については、ナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。

No.	メニュー	内容
(6)	設定	マツダコネクトの画面/サウンド設定や車両機能の設定を変更できます。 画面表示: ディスプレイの明るさや表示内容の設定をします。 サウンド: オーディオや警報音などの設定をします。 安全装備: i-ACTIVSENSE の設定をします。 車両装備: ライトやドアロックなど車両装備の設定をします。 通信*: Bluetooth などの設定をします。 モバイル機器連携*: モバイル機器との連携機能を設定します。 システム: 言語や操作などの一般的な設定をします。
(7)	Apple CarPlay*	Apple CarPlay に対応した iPhone を接続することにより、Apple CarPlay を利用することができます。
(8)	Android Auto*	Android Auto™に対応した Android™スマートフォンを接続することにより、Android Auto™を利用することができます。
(9)	ステータスアイコン	車両、接続機器、通信の状態などをお知らせするアイコンが表示されます。

!

警告

オーディオは、車を止めてから操作する。
走行中の操作は、運転操作がさまたげられ思わぬ事故につながるおそれがあります。

USB 端子に接続したコードが、チェンジレバー/セレクトレバーに絡まないようにする。
運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転中にポータブルオーディオ機器などを調節しない。
走行中に調節すると前方不注意で重大な事故につながるおそれがあります。ポータブルオーディオ機器などの調節は必ず車両を停止した状態で行ってください。

注意

安全運転をさまたげないように、運転中は車外の音が聞こえる程度の音量で使用してください。

知識

- ・ エンジンを止めたまま、マツダコネクトを長時間使用しないでください。バッテリーがあがることがあります。
- ・ 車内、または車の近くで携帯電話や無線機を使用すると、ノイズ (雑音) が発生することがありますが故障ではありません。

基本操作



知識

本書に記載されている機能の説明、画面やボタンの文字および形状などは、実際と異なる場合があります。

また、これらのコンテンツは、今後のソフトアップデートに応じて、予告なしに順次変更される可能性があります。

コマンドースイッチによる操作

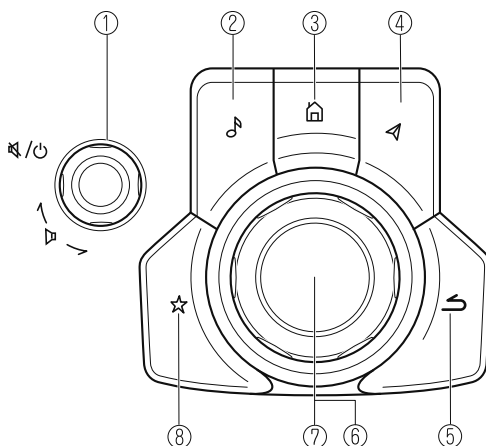
各画面へのスイッチ操作と、コマンダー操作ができます。
コマンドースイッチに包み込むように持つと各画面へのスイッチに指がかかります。
手元を見なくても、各画面に切り替えることができます。

知識

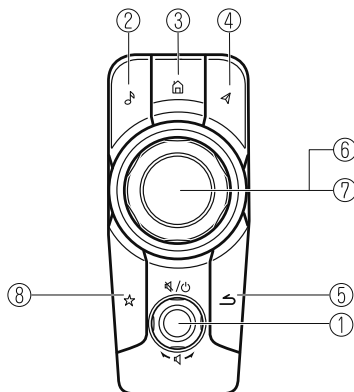
安全のため、走行中は一部の操作をすることができません。

コマンドースイッチ

A タイプ



B タイプ



スイッチの形状は仕様により異なります。

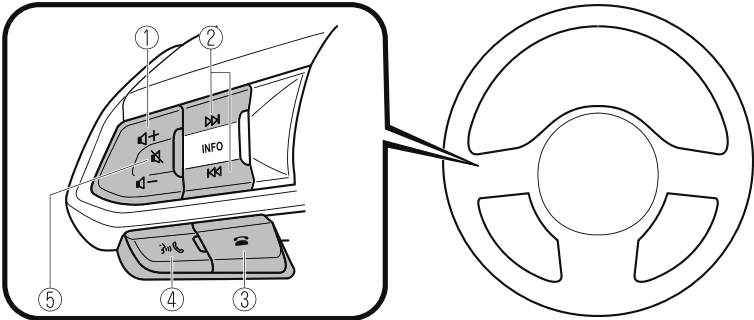
No.	アイテム	説明
1		音量ノブ: 音量調節 音量ノブをまわして音量を調節します。 音声ガイダンスされているときに音量調節すると、音声ガイダンスの音量変更となります。 ハンズフリーで通話しているときに音量調節すると、通話音量の変更になります。 音量ノブを押すと消音できます。もう一度音量ノブを押すと、消音が解除されます。 電源 OFF/ON*1 A タイプ 長押しすると、マツダコネクトの電源が OFF になり、画面が消えます。 もう一度長押しすると、マツダコネクトの電源が ON になります。  知識 Apple CarPlay、USB オーディオ、Bluetooth®オーディオなど一時停止が可能なオーディオソースを再生中に音量ノブを押して消音すると、音楽は一時停止します。もう一度音量ノブを押すと消音が解除され、同時に一時停止も解除されます。 B タイプ 長押しすると、マツダコネクトの電源が OFF になり、画面が消えます。 もう一度押すと、マツダコネクトの電源が ON になります。  知識 ・ Apple CarPlay、USB オーディオ、Bluetooth®オーディオなど一時停止が可能なオーディオソースを再生中に音量ノブを押して消音すると、音楽は一時停止します。もう一度音量ノブを押すと消音が解除され、同時に一時停止も解除されます。 ・ マツダコネクトの電源が OFF のときに、コマンダースイッチを押すとマツダコネクトの電源が ON になります。

No.	アイテム	説明
2		<u>オーディオボタン:</u> 最後に再生されたオーディオソース画面が表示されます。 (Apple CarPlay/Android Auto™音楽再生中) Apple CarPlay/Android Auto™の再生画面を表示します。
3		<u>ホームボタン:</u> ホーム画面を表示します。 (Apple CarPlay/Android Auto™表示中) Apple CarPlay/Android Auto™のホーム画面を表示します。 (Apple CarPlay/Android Auto™接続中) マツダコネクットの画面を表示しているときに長押しすると、Apple CarPlay または Android Auto™の画面に切り替わります。また Apple CarPlay または Android Auto™の画面を表示しているときに長押しすると、マツダコネクットの画面に切り替わります。
4		<u>マップボタン:</u> ナビゲーション画面を表示します (ナビゲーションシステム装備車)。 ナビゲーションシステムを機能させるには、ナビゲーションシステム用 SD カードが必要となります。 ナビゲーションシステム用 SD カードが差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。 ナビゲーションシステムの操作については、ナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。 (Apple CarPlay/Android Auto™ルート案内中) Apple CarPlay/Android Auto™のマップ画面を表示します。
5		<u>バックボタン:</u> 前の画面にもどります。
6		<u>コマンダーノブ (選択):</u> コマンダーノブをまわす、または、スライドさせて使いたい機能を選択します。
7		<u>コマンダーノブ (決定):</u> コマンダーノブを押して使いたい機能を決定します。
8		<u>お気に入りボタン:</u> お気に入り画面を表示します。 長押しすると、そのとき画面に表示している連絡先や放送局、ナビゲーションの地点などをお気に入りに登録できます。

*1 車種や車両の生産時期によって、電源 OFF/ON の方法が異なります。

オーディオリモートコントロールスイッチによる操作

ハンドルの左側にあります。手元でオーディオの操作ができます。



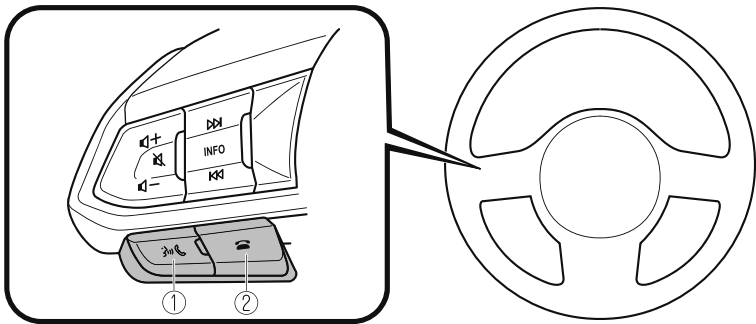
スイッチの形状は仕様により異なります。

No.	アイテム	説明
1		音量調節ボタン: +、-ボタンを操作して、音量を調節します。 音声ガイダンスされているときに音量調節すると、音声ガイダンスの音量変更となります。 ハンズフリーで通話しているときに音量調節すると、通話音量の変更になります。
2		選局ボタン: 選局 (FM/AM ラジオ) FM/AM ラジオを聞いているときにボタンを押して、お気に入りの登録している放送局を呼び出すことができます。放送局は、ボタンを押すたびに切り替わります。 また、ピッと音がするまで長押しすると自動選局を始めます。放送を受信すると止まります。 (テレビ)* テレビを視聴しているときにボタンを押して、チャンネルリスト順に放送局を呼び出すことができます。放送局は、ボタンを押すたび切り替わります。 頭出し オーディオやビデオを再生中にボタンを操作すると、曲やビデオファイルの頭出しをすることができます。 を押すと次の曲の頭に進み、を押すと前の曲の頭にもどります (曲順は選択しているファイルリスト順です)。

No.	アイテム	説明
3		<u>ハングアップボタン*1:</u> (通話中) ボタンを押すと、通話を終了します。 (電話を着信中) ボタンを押すと、応答保留になります。
4		<u>トーク/ピックアップボタン*1:</u> (電話を着信中) ボタンを押すと、電話に応答します。
5		<u>ミュートボタン:</u> ボタンを押すと消音します。 もう一度押すと、消音が解除されます。  知識 Apple CarPlay、USB オーディオ、Bluetooth®オーディオなど一時停止が可能なオーディオソースを再生中にミュートボタンを押して消音すると、音楽は一時停止します。もう一度ミュートボタンを押すと消音解除され、同時に一時停止も解除されます。

*1 トーク/ピックアップボタンとハングアップボタンは音声認識の操作でも使用します。
→1-12 ページ「音声認識機能による操作」

音声認識機能による操作



スイッチの形状は仕様により異なります。

No.	アイテム	説明
1		<u>トーク/ピックアップボタン：</u> ボタンを押すと音声認識のトップ画面が表示され、音声認識が起動します。 (音声ガイダンスが流れているとき) ボタンを押すと、音声ガイダンスをスキップできます。
2		<u>ハングアップボタン：</u> ボタンを押すと、音声認識が終了します。

音声認識の起動

オーディオリモートコントロールスイッチのトーク/ピックアップボタンを押すと、音声認識のトップ画面が表示されます。

知識

A タイプ

Apple CarPlay または Android Auto™を接続中は、マツダコネクットの音声認識は起動せず、Siri または Android Auto™の音声認識が起動します。

B タイプ

Apple CarPlay または Android Auto™を接続中はトーク/ピックアップボタンを短押しすると、マツダコネクットの音声認識/Alexa*が起動します。また、トーク/ピックアップボタンを長押しすると、Siri または Android Auto™の音声認識が起動します。

常に使用できるコマンド

- 「ヘルプ」 - 使用可能な音声コマンドを確認できます。
- 「戻る」 - 前の画面にもどります。電話番号、または住所入力画面で発話したときは、直前に入力した内容を削除します。
- 「キャンセル」 - 音声認識が終了します。

音声認識を終了する

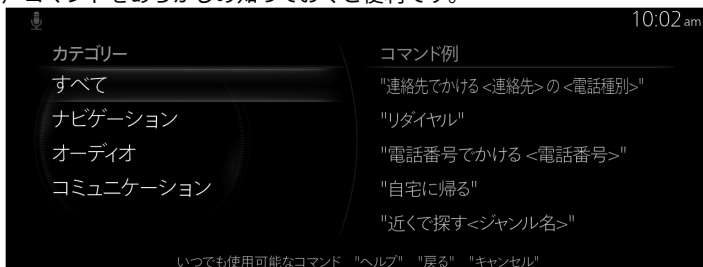
次の操作のいずれかを行ないます:

- ・ ハングアップボタンを押す。
- ・ トーク/ピックアップボタンを長押しする。
- ・ 発話: 「キャンセル」

音声認識機能の便利な使いかた

音声認識のトップ画面では、それぞれのカテゴリーにおいて有効な音声コマンドの例がディスプレイに表示されます。

使用できる音声コマンドをあらかじめ知っておくと便利です。



知識

- ・ 本書に記載しているコマンドは、使用可能なコマンドの一例です。仕様により使用できないコマンドもあります。
- ・ 機器の接続状況や使用状況によっては、使用できないコマンドがあります。
- ・ バージインの設定が ON のときは、音声ガイダンスが流れている間でも音声コマンドを発話して操作することができます。
“バージン”の設定はマツダコネクトホーム画面の“設定”で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。
- ・ ナビゲーション画面で使用できる音声コマンドの詳細は、ナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。

音声認識を失敗しないようにするために、次のポイントに注意してください:

- ・ Bluetooth®で接続されている電話があるときに、電話関連のコマンドが利用可能になります。音声認識で電話を操作する前に電話を Bluetooth®に接続してください。
- ・ 少し大きめの声で発話すると認識されやすくなりますが、過度に大声を出す必要はありません。同乗者に話しかけるよりも少し大きめの声が目安です。
- ・ 必要以上にゆっくりしゃべらず、通常話するときの速さで発話してください。
- ・ 機器側の電話帳にふりがな情報が未登録の場合、音声認識で電話帳を呼び出すことができません。
- ・ 機器側の電話帳の人物を音声認識で呼び出す場合、登録されている名前が長いほど認識率は向上します(「はは」、「いえ」、「つま」などのように短い場合、認識に失敗する場合があります)。
- ・ 単語や数字の間で区切らないように発音してください。
- ・ 指定された音声コマンド以外は、認識することができません。指定された音声コマンドを発話してください。
- ・ マイクの方に向いたり近づいたりする必要はありません。安全運転中の姿勢のまま音声コマンドを発話してください。

- ・ Bluetooth®ハンズフリーを使用するときは、窓とサンルーフを閉めてください。窓またはサンルーフが開いていると、車外の雑音やエアコンの気流の乱れにより、音声为正しく認識されないことがあります。
- ・ エアコンの風がマイクにあたっていないことを確認してください。
- ・ 音声ガイダンス中に音声コマンドを発話するときは、少し大きめの声で発話してください。ただし過度に大声を出す必要はありません。
- ・ ガイダンス音量を大音量に設定すると、音声为正しく認識されないことがあります。その場合は、バージインの設定を OFF にしてください。

音声認識機能に対応しているコマンドの一例

カッコ内には、指定する名前や数字が入ります。

共通

- ・ 戻る
- ・ ヘルプ (画面ごとのヘルプガイダンスを聞くことができます。)
- ・ キャンセル

メニュー

- ・ すべて
- ・ ナビゲーション
- ・ オーディオ
- ・ コミュニケーション

設定

- ・ ディスプレイオフ

音楽

- ・ アーティストで再生 <アーティスト名>
- ・ アルバムで再生 <アルバム名>
- ・ プレイリストで再生 <プレイリスト名>
- ・ 曲で再生 <曲名>
- ・ オーディオブックで再生 <オーディオブック名>

ラジオ

- ・ AM 放送局名 <放送局名>
- ・ FM 放送局名 <放送局名>

ソース

- ・ オーディオ切替え <ソース名>
- ・ オーディオ OFF

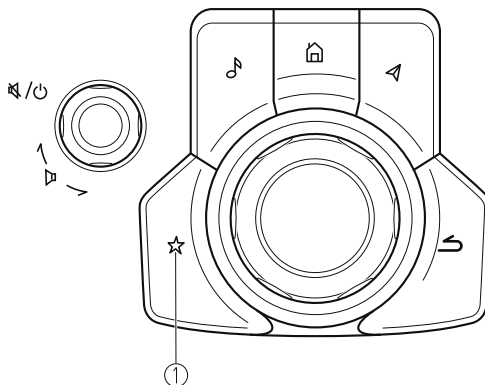
電話

- ・ 電話番号でかける <電話番号>
- ・ 電話履歴
- ・ 連絡先でかける <連絡先>
- ・ リダイヤル

お気に入り

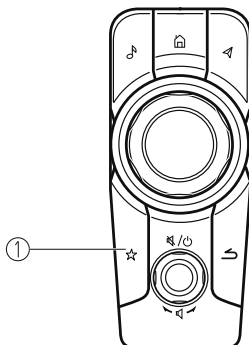
お気に入りに登録する

A タイプ



1. お気に入りボタン

B タイプ



1. お気に入りボタン

お気に入りボタンを使うと、放送局や連絡先、ナビゲーションの目的地など、お気に入りに登録したコンテンツに素早くアクセスすることができます。

新しくお気に入りに追加するには、次の方法があります。

- ・ 連絡先や放送局、ナビゲーションの地点などの表示画面で ★ を長押しする。
- ・ リスト上で追加したいコンテンツを選んだ状態で ★ または  を長押しする。

お気に入り

1. コマンドースイッチの★を押して、お気に入りリストを表示します。



2. リストから再生/表示したいコンテンツを選択すると再生/表示します。

オプションメニュー

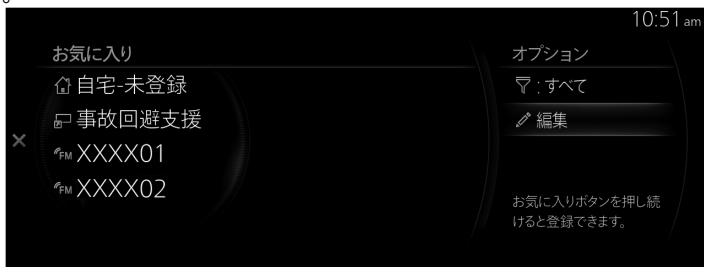
オプション	説明
 [現在選択されているカテゴリ]	現在選択されているフィルターのカテゴリ名が表示されます。選択するとお気に入りリストに表示するカテゴリを変更できます。
編集	選択するとお気に入りリストの編集ができます。

 知識

- ・(ナビゲーションシステム装備車のみ)
“自宅”は未登録の状態を選択すると、自宅の登録をすることができます。詳しくはナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。
- ・“事故回避支援”、“ステアリングシフトスイッチ”を選択することで、各設定画面に素早くアクセスすることができます(一部の車種のみ)。

お気に入りリストの編集

お気に入りリストの表示順や名称を変更したり、お気に入りに登録しているコンテンツを削除することができます。



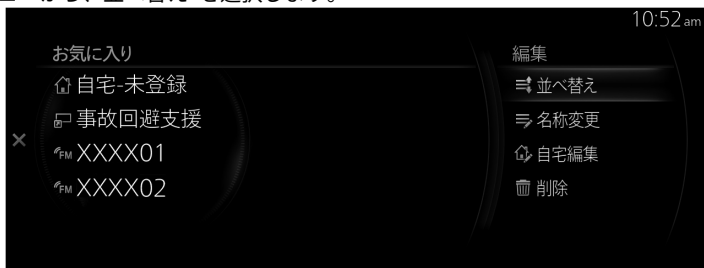
編集	説明
並べ替え	お気に入りリストの表示順を変更できます。
名称変更	お気に入りリストの名称を変更できます。
自宅編集	(ナビゲーションシステム装備車のみ) 自宅の登録ができます。 詳しくはナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。
削除	登録したお気に入りの削除ができます。

お気に入りリストの表示順を変更する

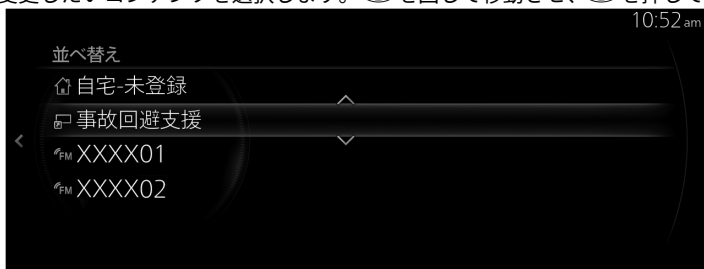
1. オプションメニューから“編集”を選択します。



2. 編集メニューから、“並べ替え”を選択します。



3. 表示順を変更したいコンテンツを選択します。🎮を回して移動させ、🎮を押して確定します。



お気に入りリストの表示名を変更する

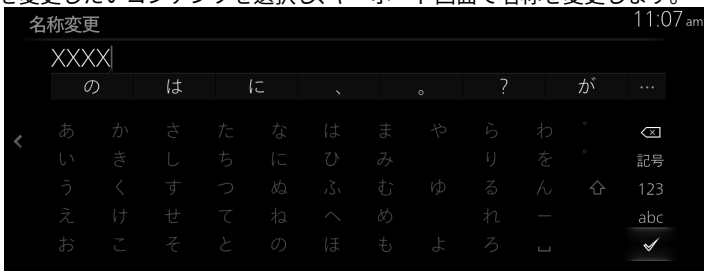
1. オプションメニューから“編集”を選択します。



2. 編集メニューから、“名称変更”を選択します。



3. 表示名称を変更したいコンテンツを選択し、キーボード画面で名称を変更します。



知識

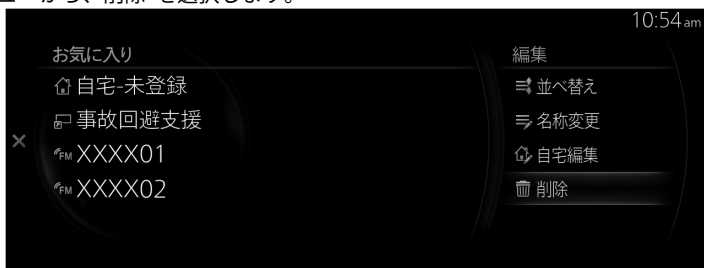
- ・  を選択すると、ひとつ前の文字を削除します。長押しすると、入力したすべての文字を削除します。
- ・  を左に倒すと、編集を保存せずに前の画面にもどります。

お気に入りリストからコンテンツを削除する

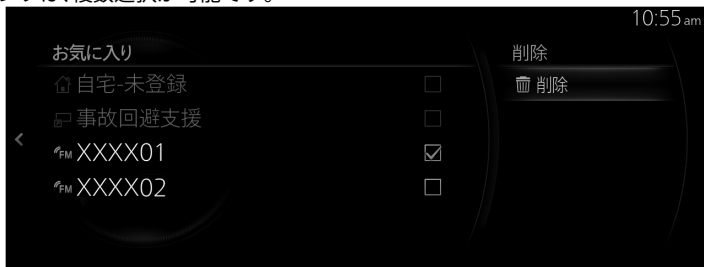
1. オプションメニューから“編集”を選択します。



2. 編集メニューから、“削除”を選択します。



3. 削除したいコンテンツにチェックを入れて“削除”を選択すると、コンテンツを削除します。削除するコンテンツは、複数選択が可能です。



マツダコネクトをご使用の前に

Gracenote® データベース

音楽 CD を再生した場合、車両に収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトル、アルバムアートを検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します (MP3/WMA/AAC CD や USB オーディオ、Bluetooth®オーディオを再生した場合はアルバムアートのみ)。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote®音楽認識サービスのデータベース情報を使用しています。

テレビ*

⚠ 注意

- 本機は、ARIB (電波産業会) 規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては、特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェア、またはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったりそれに関与してはいけません。
- 本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

コンテンツ権利保護専用方式について

本機は、コンテンツ権利保護専用方式 (ソフトウェア方式) を採用しています。そのため、B-CAS カードは不要です。

Apple CarPlay*

⚠ 注意

- 適用法によって認められる最大の範囲で Apple CarPlay (以下「アプリケーション」) およびその情報は、瑕疵 (かし) の有無を問わずかつ一切の保証をともなわない「現状有姿」かつ「利用可能な限り」提供され、お客さまの責任の下で使用されるものとします。
アプリケーションの商品性、満足すべき品質、特定目的への適合性、正確性、平穩享有、第三者の権利の非侵害性に関する明示的、黙示的または法的な保証を含め、マツダは一切の保証はしません。
適用法により禁止されない限り、アプリケーションとその使用または使用不能に起因/関連する、人身傷害または付随、特別、間接もしくは派生損害などについて、いかなる場合もマツダおよびマツダ関連会社は一切の責任を負いません。
なお、当該損害などには以下のものを含みます。
- 逸失利益
- データの破損または損失
- 事業の中断またはその他のいかなる商業的損害もしくは損失など
- Apple CarPlay を使用するときは、運転に集中して周囲の状況を十分に確認し、運転者の責任において Apple CarPlay を使用してください。

知識

- ・ Apple CarPlay は Apple 社によって提供されています。使用するには Apple iOS 利用規約および Apple CarPlay 利用規約に同意していることを条件としています。
- ・ Apple CarPlay 使用中は、場所や速度などの車両データが iPhone に転送されます。詳しくは Apple プライバシーポリシーを参照ください。

Android Auto™*

注意

- 適用法によって認められる最大の範囲で Android Auto™ (以下「アプリケーション」) およびその情報は、瑕疵 (かし) の有無を問わずかつ一切の保証をともしない「現状有姿」かつ「利用可能な限り」提供され、お客さまの責任の下で使用されるものとします。
アプリケーションの商品性、満足すべき品質、特定目的への適合性、正確性、平穩享有、第三者の権利の非侵害性に関する明示的、黙示的または法的な保証を含め、マツダは一切の保証はしません。適用法により禁止されない限り、アプリケーションとその使用または使用不能に起因/関連する、人身傷害または付随、特別、間接もしくは派生損害などについて、いかなる場合もマツダおよびマツダ関連会社は一切の責任を負いません。
なお、当該損害などには以下のものを含みます。
 - 逸失利益
 - データの破損または損失
 - 事業の中断またはその他のいかなる商業的損害もしくは損失など
- Android Auto™を使用するときは、運転に集中して周囲の状況を十分に確認し、運転者の責任において Android Auto™を使用してください。

知識

- ・ Android Auto™は Google 社によって提供されています。使用するには Android Auto™利用規約に同意していることを条件としています。
- ・ Android Auto™使用中は、場所や速度などの車両データが Android™スマートフォンに転送されます。詳しくは Google プライバシーポリシーを参照ください。

Alexa*

Alexa は Amazon が提供するサービスで、Amazon 利用規約およびプライバシーポリシーが適用されます。マツダはお客さまの Amazon アカウントにアクセスできません。

商標について

- ・ iPhone, iPod touch, iPod nano, Siri and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- ・ The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- ・ Apple CarPlay is trademarks of Apple Inc.
- ・ Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this product with iPhone, iPod may affect wireless performance.

- ・ iOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.
- ・ “Made for iPhone” and “Made for iPod” mean that an accessory has been designed to connect specifically to iPhone or iPod, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
Please note that the use of this accessory with iPhone or iPod may affect wireless performance.

Made for

(MAZDA CX-5 (車両の生産時期によって異なります)、MAZDA CX-8)

iPhone 7 Plus
iPhone 7
iPhone SE
iPhone 6s Plus
iPhone 6s
iPhone 6 Plus
iPhone 6
iPhone 5s
iPhone 5c
iPhone 5
iPhone 4s
iPod touch (6th generation)
iPod touch (5th generation)
iPod nano (7th generation)

(MAZDA2、MAZDA CX-3、MAZDA CX-5 (車両の生産時期によって異なります))

iPhone 11 Pro Max
iPhone 11 Pro
iPhone 11
iPhone XS Max
iPhone XS
iPhone XR
iPhone X
iPhone 8 Plus
iPhone 8
iPhone 7 Plus
iPhone 7
iPhone SE
iPhone 6s Plus
iPhone 6s
iPhone 6 Plus
iPhone 6
iPhone 5s
iPod touch (7th generation)
iPod touch (6th generation)

(MAZDA ROADSTER)

iPhone 12 Pro Max
iPhone 12 Pro
iPhone 12
iPhone 12 mini
iPhone SE (2nd generation)
iPhone 11 Pro Max
iPhone 11 Pro

iPhone 11
iPhone XS Max
iPhone XS
iPhone XR
iPhone X
iPhone 8 Plus
iPhone 8
iPhone 7 Plus
iPhone 7
iPhone SE
iPhone 6s Plus
iPhone 6s
iPhone 6 Plus
iPhone 6
iPhone 5s
iPod touch (7th generation)
iPod touch (6th generation)

Made for

 iPhone | iPod

- ・ Google, Android, Android Auto and other related marks are trademarks of Google LLC.
- ・ AUDIOPILOT は、ボーズコーポレーションの登録商標です。
- ・ Centerpoint は、ボーズコーポレーションの登録商標です。
- ・ Windows Media and Microsoft are registered trademarks of Microsoft Corporation U.S. in the United States and other countries.
- ・ This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- ・ Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。



- ・ SDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.



- ・ Gracenote、Gracenote ロゴとロゴタイプ、“Powered by Gracenote”ロゴ、Gracenote MusicID は、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。



- ・ 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客さまの個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
- ・ 画像情報を MPEG-4 Visual、AVC、VC-1 規格に準拠して (以下、MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオ) を記録すること。
- ・ 個人的活動に従事する消費者によって記録された MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- ・ Amazon、Alexa、Echo およびこれらに関連するすべての商標は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

オーディオアンプのライセンスについて (ボーズオーディオ付車は除く) (車両の生産時期によって異なります)

License for CMSIS-RTOS RTX Implementation

Copyright (c) 1999-2009 KEIL, 2009-2015 ARM Germany GmbH, 2013-2016 ARM Ltd All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- ・ Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- ・ Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- ・ Neither the name of ARM nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MEMO

情報.....	2-2
i-DM.....	2-2
燃費モニター.....	2-3
車両ステータスモニター.....	2-8

オーディオ.....	2-10
オーディオ.....	2-10
交通情報.....	2-21
FM.....	2-23
AM.....	2-27
Bluetooth®.....	2-31
USB1 Audio/USB2 Audio.....	2-37
USB1 Video/USB2 Video.....	2-45

TV*	2-51
-----------	------

コミュニケーション.....	2-57
コミュニケーション.....	2-57
Bluetooth®ハンズフリー.....	2-58

ナビゲーション.....	2-79
ナビゲーション*	2-79

設定.....	2-80
設定.....	2-80
通信 / モバイル機器連携.....	2-83

i-DM

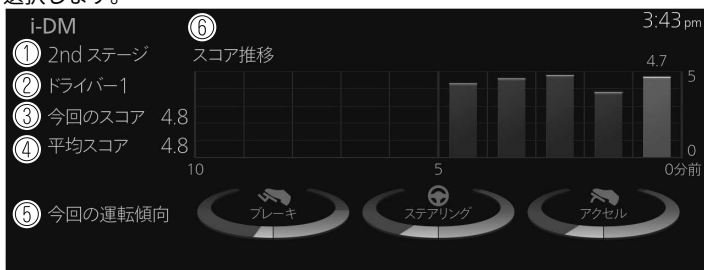
インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) はマツダ車の「走る歓び」と「優れた環境安全性能」を十分に実感していただくためのドライビングサポートシステムです。乗員全員が車両との一体感を感じながら爽快なドライブを楽しめるようになる運転技量の習得/向上をサポートします。

i-DM 表示

運転の評価をスコア (点数) で表示します。スコアに応じてステージが決まります。ステージは 1st ステージから 3rd ステージまであり、ステージが上がるとスコアの診断が厳しくなります。運転技量が上がリ、現在のステージでアベレージスコアを高く保てるようになると、次のステージへ上がります。逆に、低いアベレージスコアが続くとステージが下がります。ステージの上限を 5th ステージに変更できます。また、これまでの走行履歴をリセットして 1st ステージにもどすことができます。詳しくは、マツダ販売店にご相談ください。

センターディスプレイ内の項目を選択することにより、i-DM の情報を表示します。

1. ホーム画面の“情報”を選択します。
2. “i-DM”を選択します。



1. 現在のステージを表示します。
2. ドライバー名を表示します。
ドライバーの登録/選択は、マツダコネクトホーム画面の“設定”で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。
3. 今回のスコアを表示します。
4. 平均スコアを表示します。
5. 今回の運転傾向を表示します。ブレーキ、ハンドル、アクセルの操作それぞれを表示します。白のゲージはやや急な運転の多さを示し、青のゲージはしなやかな運転の多さを示します。
6. スコアの推移を棒グラフで表示します。各グラフは1分間のスコアを示し、過去10分間の記録を表示します。最新のグラフは右側にハイライト表示されます。信号待ちや一定速走行など運転操作がなかった場合はゼロのグラフが表示されます。

設定画面

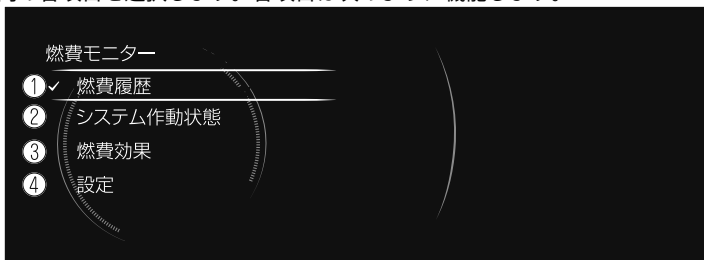
メーターの i-DM 表示を表示/非表示に切り替えることができます。

1. ホーム画面の“情報”を選択します。
2. “i-DM”を選択します。
3. コマンドスイッチを押し、“メーターの i-DM 表示”を表示します。
4. チェックを入れる (☒) と表示、チェックをはずす (☐) と非表示になります。

燃費モニター

センターディスプレイ内の各項目を選択することにより、燃費履歴、システム作動状態、燃費効果、設定を切り替え表示します。

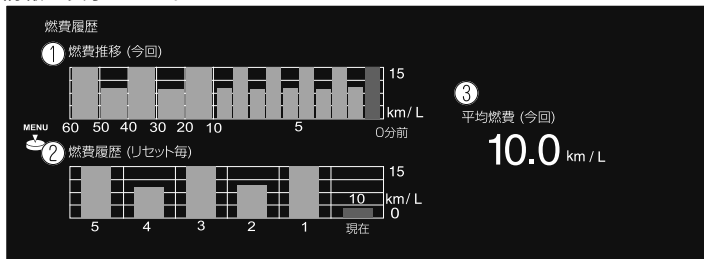
1. ホーム画面の“情報”を選択します。
2. “燃費モニター”を選択します。
3. コマンダースイッチを押し、メニューを表示します。
4. メニュー内の各項目を選択します。各項目は次のように機能します。



1. 燃費に関する情報を表示します。
2. システムの作動状態を表示します。
3. 燃費効果を表示します。
4. 燃費モニターの設定を表示します。

燃費履歴

燃費に関する情報を表示します。



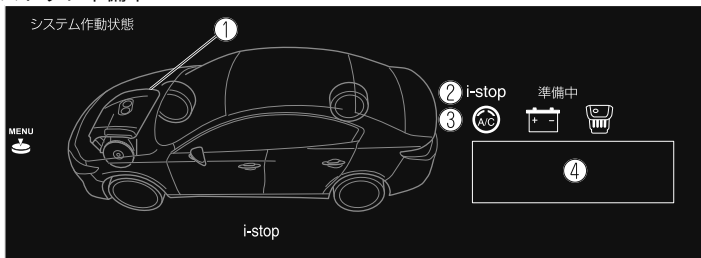
1. 過去 60 分間の燃費を表示します。
 - ・ 過去 1～10 分間は、1 分間ごとの燃費を表示します。
 - ・ 過去 10～60 分間は、10 分間ごとの燃費を表示します。
2. 過去 5 回分のリセット時の平均燃費とリセット後(現在)の平均燃費を表示します。
3. 走行開始後の平均燃費を一定の間隔で算出して表示します。

システム作動状態

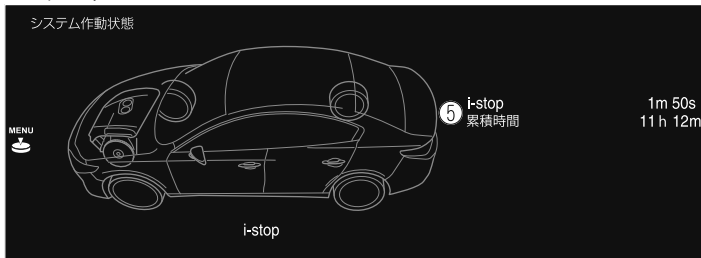
i-stop の作動状態

A タイプ

アイドリングストップ準備中



アイドリングストップ中



1. アイドリングストップの作動状況をエンジン部分で表示します。アイドリングストップしていないときはエンジン部分が発光して、アイドリングストップ中はエンジン部分が発光しません。
2. アイドリングストップが可能かどうかの準備状況を表示します。
3. アイドリングストップ準備状況をアイコン (エンジン、バッテリーおよびエアコン) の色で表示します。準備ができたアイコンは発光します。発光していないアイコンは準備ができていないことを知らせます。
4. アイドリングストップしていないとき、アイドリングストップするために必要な運転者の操作を表示します。
5. アイドリングストップ中、現在のアイドリングストップ時間と累積のアイドリングストップ時間を表示します。

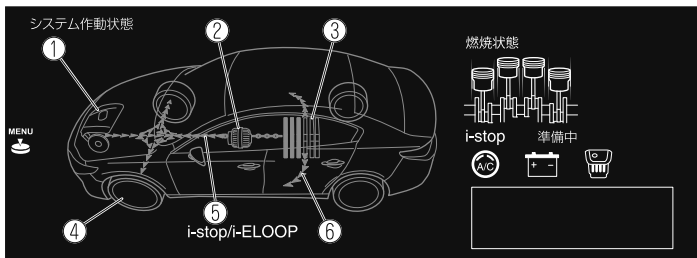
B タイプ



1. アイドリングストップの作動状況をエンジン部分で表示します。アイドリングストップしていないときはエンジン部分が発光して、アイドリングストップ中はエンジン部分が発光しません。
2. アイドリングストップ中、現在のアイドリングストップ時間と累積のアイドリングストップ時間を表示します。

i-ELOOP の作動状態

A タイプ



1. エンジン
2. インテグレートド・スタータ・ジェネレータ (ISG)
3. 蓄電器
4. タイヤ
5. エネルギーの流れを示す矢印
6. 蓄電器から電装品に向かって矢印が動き、同時に表示している車両が発光します。すべての矢印を記載しており、実際の表示とは異なります。

(例)

- ・蓄電器に充電しているときは、蓄電器に向かって矢印が動きます。
- ・走行中は、エンジン (走行状態によりエンジンと ISG 両方) からタイヤに向かって矢印が動きます。また、蓄電器から電装品に向かって矢印が動き、同時に車両表示が発光します。^{*1}
- ・走行中は、タイヤの表示が回転します。

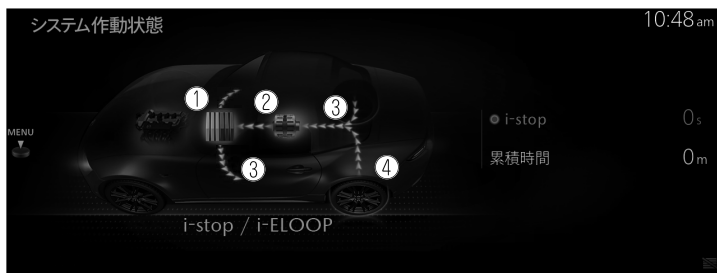


知識

- ・蓄電器の残量を 6 段階で表示します。
- ・蓄電器の充電は、i-ELOOP によって自動制御されています。エンジンの動力や回生ブレーキによる発電が行われても、蓄電器残量表示が最大まで達成しないことがあります。異常ではありません。

^{*1} 走行状況により表示が異なる場合があります。

B タイプ



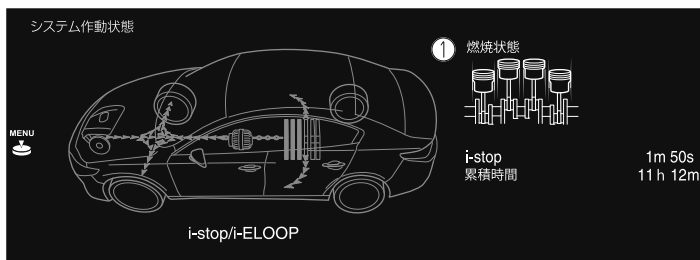
1. 蓄電器
蓄電器の残量を 6 段階で表示します。
2. インテグレートッド・スタータ・ジェネレータ (ISG)
ISG が作動しているときは、アイコンが発光します。
3. エネルギーの流れを示す矢印
矢印の向きと矢印の動きにより、エネルギーの流れを表示します。
実際の表示とは異なります。
4. タイヤ
走行中は、タイヤの表示が回転します。
回生ブレーキ中は、アイコンが発光します。



知識

蓄電器の充電は、i-ELOOP によって自動制御されています。回生ブレーキによる発電が行われても、蓄電器残量表示が最大まで達成しないことがありますが、異常ではありません。

気筒休止の作動状態



1. 各気筒の状態を色によって表示します。作動している気筒は赤色で表示されます。

燃費効果

エネルギー効率実績を表示します。



1. アイドリングストップした時間を表示します。
2. アイドリングストップで延ばすことができた全走行距離を表示します。
3. システムの効果により削減された二酸化炭素 (CO₂) 排出量に応じてリーフ (葉) が成長します。成長したリーフは累計され、本数を表示します。

設定

燃費モニターの設定画面を表示します。

設定画面では、次の設定を変更することができます。

- ・燃費履歴のリセット
- ・トリップメーター (TRIP A) をリセットしたときに、メーターの平均燃費とセンターディスプレイの燃費履歴 (現在) も同期 (連動) してリセットする/しないの設定

車両ステータスマニター

1. ホーム画面の“情報”を選択して、車両ステータスマニターの画面を表示します。
2. “車両ステータスマニター”を選択します。
次の機能の設定をお客様自身で変更することができます。

機能		説明
重大故障*		車両に重大な故障が発生している場合に表示されます。
次回メンテナンス予定		次回のメンテナンス時期が表示されます。 <u>日付について</u> お客様自身が手動で設定した日付が表示されます。 <u>距離について</u> “次回メンテナンス予定の設定”を“自動”に設定している場合 “エンジンオイル交換”の内容が表示されます。 “次回メンテナンス予定の設定”を“手動”に設定している場合 お客様自身が手動で設定した走行距離が表示されます。 ただし、次の条件のいずれかを満たしているときは“エンジンオイル交換”の内容が表示されます。 ・お客様自身が走行距離を設定していないとき ・お客様自身が設定した走行距離よりも、“エンジンオイル交換”の方が短いとき
メンテナンス詳細情報	エンジンオイル交換	エンジンオイルの交換が必要になるまでの走行距離が表示されます。
	次回メンテナンス予定	お客様自身が手動で設定した次回のメンテナンス時期が表示されます。

機能		説明
設定	次回メンテナンス予定の設定	次回のメンテナンス時期の設定方法を、次の2つから選択できます。 ・自動 ・手動
	次回メンテナンス予定日の設定	“次回メンテナンス予定の設定”を“手動”に設定している場合、次回のメンテナンスの日付を設定できます。
	次回メンテナンス予定残距離の設定	“次回メンテナンス予定の設定”を“手動”に設定している場合、次回のメンテナンスまでの走行距離を設定できます。
	エンジンオイル交換距離のリセット*	“エンジンオイル交換”の内容を初期化できます。 エンジンオイルを交換したあとは、この項目で記憶値の初期化(オイルデーターリセット)を行ってください。

オーディオ

オーディオ機器に液体をかけないでください。



ラジオについて

ラジオの受信は、車両の移動にともないアンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

- ・ 本機は AM 放送の FM 補完中継放送（ワイド FM）に対応しています。
- ・ 本機で受信可能な周波数帯域は次の通りです。
 - ・ FM 放送波 76.0 ～ 99.0MHz
 - ・ AM 放送波 522 ～ 1629kHz

→2-23 ページ「FM」

→2-27 ページ「AM」

テレビについて

テレビの受信は、車両の移動にともないアンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

⚠ 注意

- 本機は、ARIB (電波産業会) 規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては、特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェア、またはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったりそれに関与してはいけません。
- 本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

本機は、パナソニック株式会社に製造されたものです。

地上デジタルテレビ放送について



- ・地上デジタルテレビ放送は、大きく分けて3種類のサービスがあります。本機では、テレビ放送とデータ放送のサービスを受けることができます(ラジオ放送には、対応しておりません)。
 - ・テレビ放送: 従来のテレビ放送
 - ・ラジオ放送: 音声を主とした放送
 - ・データ放送: 現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの放送
- ・受信モードをお車の状況にあわせて切り替えることで、受信状態を安定させることができます。自動でワンセグ・フルセグ(SDTV)の切り替えを行なうか、行なわないかは、設定により変更することができます。
- ・地上デジタルテレビ放送のサービスのひとつとして「ワンセグ」があります。



- ・日本の地上デジタルテレビ放送は、約6MHzの帯域を13個のセグメントに分けて放送する仕組みですが、そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の放送を行なっています。ワンセグ放送は、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けに放送するサービスです。
※地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、12セグに比べると画質や音質は劣りますが、受信エリアは12セグよりも広く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。

コンテンツ権利保護専用方式について

本機は、コンテンツ権利保護専用方式(ソフトウェア方式)を採用しています。そのため、B-CASカードは不要です。

USB オーディオ機器について

USBメモリ、USBオーディオ機器に記録して再生可能なデータは次の通りです。

オーディオファイル：MP3、WMA、AAC、MP4、3GPP、WAV、FLAC、OGG

ビデオファイル：MP4、AVI、ASF

これらの規格以外で書き込まれたファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。

⚠ 注意

オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

知識

- ・接続する機器によっては、使用できない場合があります。
- ・FAT16、および FAT32 でフォーマットされた USB メモリに対応しています。

- ・ **(FAT16)**

- 最大ファイルサイズ: 2GB

- 最大ボリュームサイズ: 2GB

- ・ **(FAT32)**

- 最大ファイルサイズ: 4GB -1byte

- 最大ボリュームサイズ: 2TB (セクタサイズが 512 バイトの場合)

(NTFS フォーマットなどでフォーマットされた USB メモリには対応していません)。

- ・ひとつの USB 機器で再生可能な最大ファイル数は 9999 ファイルです。また、ひとつのフォルダで再生可能な最大ファイル数は 255 ファイルです。
- ・本機では USB2.0/1.1 規格に対応したデバイスが利用できます。USB3.0 規格品であっても USB2.0 と互換のある機材であれば、USB2.0 デバイスとして利用可能です。
- ・本機は著作権保護されたファイルは再生できません。
- ・機器に保存された曲順と再生順序が違ふことがあります。
- ・1 ポートあたりの最大電流は 2.5 A (USB Type-A)/3 A (USB Type-C)です。これ以上の電流を必要とする機器が接続された場合は、機器が正常に動作しなかったり、充電できない場合があります。
- ・パスワードで保護されたデータは再生することができません。
- ・記録されているデータの消失、損傷といった万一に備えて、データはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- ・USB オーディオ機器が再生に対応していない音楽データは、本機で再生できない場合があります。
- ・USB ビデオとして再生可能な動画ファイルは、マストレージに対応している USB オーディオ機器に保存された動画ファイルです。

→2-37 ページ「USB1 Audio/USB2 Audio」

→2-45 ページ「USB1 Video/USB2 Video」

Gracenote®音楽認識サービスについて

知識

- ・「Gracenote® 音楽認識サービス」によって提供されるデータは、100%内容を保証しているものではありません。
- ・USB メモリを使用して Gracenote® 音楽データベースを更新することができます。
<https://www.mazda.co.jp/carlife/mazda-connect/v2/support/>
- ・本機では、Gracenote®音楽認識サービスは USB オーディオ、および Bluetooth® オーディオに対応しています。

Bluetooth® オーディオについて

Bluetooth®通信機能のあるポータブルオーディオ機器を車両のマツダコネク트에登録すると、登録したポータブルオーディオ機器に録音されている音楽を、車両のスピーカーから聴くことができます。また、ポータブルオーディオ機器を車両の外部入力端子に接続する必要はありません。

→2-83 ページ「通信 / モバイル機器連携」

登録後は、マツダコネクで音楽の再生/停止が可能です。

 知識

- ・ Bluetooth® 機器によっては使用できない場合があります。対応する Bluetooth®機器の情報はマツダ販売店に問い合わせください。
- ・ 安全のため、車両が停止しているときのみペアリング (登録) することができます。ペアリングを行なう前に、安全な場所に車両を止めてください。
- ・ Bluetooth® 機器の通信可能距離は約 10 メートル以内です。
- ・ Bluetooth® 機器を鞆に入れたままだと、接続しにくい場合があります。
- ・ コンテンツ保護されたデジタル音声出力は、SCMS-T のみ対応しています。
- ・ スマートフォンなどでの音楽配信サービスアプリなどの楽曲は再生できないことがあります。
- ・ Bluetooth® 接続していない場合でも、音声コマンドを発話することによりオーディオの基本操作などは可能です。

対応 Bluetooth® 規格 (推奨)

Ver. 1.1/1.2/2.0 + EDR/2.1 + EDR/3.0 (適合)および Bluetooth® Ver. 4.2 と互換のあるもの

対応プロファイル

- ・ A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) Ver. 1.3
 - ・ AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) Ver. 1.0/1.3/1.4/1.5/1.6
- A2DP は、音声を Bluetooth®ユニットに転送するだけのプロファイルです。AVRCP に対応せず、A2DP のみに対応している Bluetooth®オーディオ機器の場合、マツダコネクトでの操作はできません。Bluetooth® オーディオ機器側での操作のみ可能です。

機能	AVRCP				
	Ver. 1.0	Ver. 1.3	Ver. 1.4	Ver. 1.5	Ver. 1.6
再生	○	○	○	○	○
一時停止	○	○	○	○	○
ファイル (トラック) アップ	○	○	○	○	○
ファイル (トラック) ダウン	○	○	○	○	○
アルバムアップ	—	○	○	○	○
アルバムダウン	—	○	○	○	○
早送り	○	○	○	○	○
早戻し	○	○	○	○	○
リピート再生	—	○	○	○	○
シャッフル再生	—	○	○	○	○

機能	AVRCP				
	Ver. 1.0	Ver. 1.3	Ver. 1.4	Ver. 1.5	Ver. 1.6
プレイリストの表示	—	—	○	○	○
プレイリストや楽曲の情報表示 (曲名、アーティスト名など)	—	○	○	○	○

○: 可能
—: 不可能

 知識

- ・実際の機能の動作可否は、接続する機器によって表と異なる場合があります。
- ・Bluetooth® が接続されているときは、Bluetooth® オーディオ機器のバッテリー消費量が増加します。

 注意

Bluetooth® オーディオとして接続しているデバイスを、同時に USB オーディオとして本機に接続しないでください。正常に操作できなくなったり、予期しない動作を引き起こすことがあります。

→ 2-31 ページ「Bluetooth®」

再生可能なオーディオファイルについて

 注意

オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

本機で再生可能なオーディオファイルは次の通りです。

対応フォーマット		対応ビットレート	対応サンプリングレート
MP3	MPEG-1 Layer 3	32 - 320 kbps	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
	MPEG-2 Layer 3	8 - 160 kbps	16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz

対応フォーマット		対応ビットレート	対応サンプリングレート
WMA	WMA Ver. 7	48 - 192 kbps	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
	WMA Ver. 8		
	WMA Ver. 9	48 - 320 kbps	
	WMA Ver. 9.1		
	WMA Ver. 9.2		
AAC	MPEG-2 Part 7	8 - 320 kbps	11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
	MPEG-4 Part 3		
	HE-AAC		
	AACPlus v2 / eAAC+		
MP4	MPEG-2 Part 7		
	MPEG-4 Part 3		
	MPEG-1 Layer 3		
	MPEG-2 Layer 3		
	ALAC		
3GPP	MPEG-4 AAC-LC		
	HE-AAC		
	AACPlus v2 / eAAC+		
WAV	LPCM	—	8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz
FLAC	FLAC	—	

対応フォーマット		対応ビットレート	対応サンプリングレート
OGG	Vorbis	32 - 500 kbps	8 kHz / 11.025 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
	FLAC	—	8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz

MP3 について

MPEG Audio Layer3 の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。
MP3 は、音声データをもとのデータの約 10 分の 1 に圧縮することができます。
本機は、拡張子 (.mp3) がついているファイルを MP3 ファイルとして再生します。

WMA について

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。
MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。
本機は、拡張子 (.wma) がついているファイルを WMA ファイルとして再生します。

- * Microsoft、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・記載している規格以外で書き込まれた WMA ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

AAC について

AAC とは、Advanced Audio Coding の略称で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。
MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。
本機は、拡張子 (.aac) がついているファイルを AAC ファイルとして再生します。

- ・記載している規格以外で書き込まれた AAC ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。

WAV について

WAV とは、RIFF waveform Audio Format の略称で、Microsoft と IBM によって開発された音声圧縮の規格です。
本機では PCM (パルス符号変調) 形式で記録された、拡張子 (.wav) がついているファイルを WAV ファイルとして再生します。

知識

PCM 形式は、CD などに採用されている形式で、アナログのオーディオデータをデジタル化するための手法です。

- ・記載している規格以外で書き込まれた WAV ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。

Ogg について

Ogg とは、Xiph.Org Foundation の音声圧縮フォーマットです。

MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。

本機は、拡張子 (.ogg/.ogx/.oga) がついているファイルを Ogg ファイルとして再生します。

- ・記載している規格以外で書き込まれた Ogg ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。

MP4 について

MP4 とは、MPEG-4 Part 14 で標準化されているコンテナファイルフォーマットです。

本機は、拡張子 (.m4a) がついているファイルを MP4 のオーディオファイルとして再生します。

3GPP について

3GPP とは、Third Generation Partnership Project が規格を定めているファイルフォーマットです。

本機は、拡張子 (.3gp) がついているファイルを 3GPP ファイルとして再生します。

FLAC について

FLAC とは、Free Lossless Audio Codec の略称で、ライセンスフリーの音声ファイルフォーマットです。

本機は、拡張子 (.flac/.fla) がついているファイルを FLAC ファイルとして再生します。

再生可能なビデオファイルについて

 注意

ビデオファイル以外のファイルにビデオファイルの拡張子をつけないでください。また、ビデオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

本機で再生可能なビデオファイルは次の通りです。

対応フォーマット			最大画像サイズ	最大フレームレート	CD	D V D	US B
MP4	映像	MPEG-4 AVC	1920 × 1080	60 i / 30 p	—	—	○
		MPEG4					
	音声	AAC					
		MP3					
AVI	映像	MPEG-4 AVC					
		MPEG4					
		WMP9					
		Advanced Profile					
	音声	AAC					
		MP3					
		WMA 9.2 (7, 8, 9.1, 9.2)					
ASF	映像	WMP9					
		WMP9 Advanced Profile					
	音声	WMA 9.2 (7, 8, 9.1, 9.2)					

○: 可能
—: 不可能

MP4 について

MP4 とは、MPEG-4 Part 14 で標準化されているコンテナファイルフォーマットです。
本機は、拡張子 (.mp4/.m4v) がついているファイルを MP4 のビデオファイルとして再生します。

AVI について

AVI とは、Audio Video Interleave の略称で、Microsoft 社によって開発されたコンテナファイルフォーマットです。
本機は、拡張子 (.avi) がついているファイルを AVI ファイルとして再生します。

ASF について

ASF とは、Advanced Systems Format の略称で、Microsoft 社によって開発されたコンテナファイルフォーマットです。
本機は、拡張子 (.wmv) がついているファイルを ASF ファイルとして再生します。

Apple CarPlay に関する免責事項

本機は、iPhone を車両のオーディオ機器で操作できる Apple CarPlay に対応しています。
Apple CarPlay は iPhone5 以降の機種に対応しています。

注意

安全のため、運転しながら本体での操作はしないでください。
iPhone を使用しないときは取りはずしてください。車内に放置すると、車内の高温と湿度で破損したりバッテリーが消耗することがあります。
iPhone のバッテリーが劣化しているときは、本機に接続しても充電や音楽再生などができない場合があります。

知識

- ・ OS のバージョンによっては、iPhone5 以降の機種でも Apple CarPlay に対応していない場合があります。
- ・ 記録されているデータの消失、損傷といった万一に備えて、データはバックアップを取っておくことをおすすめします。

→3-2 ページ「Apple CarPlay」

Android™について

本機は、Android™ 5.0 Lollipop 以上を使用している Android™スマートフォンに対応しています。Android Auto™を使用するには、Android Auto™ アプリケーションがダウンロードされたスマートフォンが必要です。

注意

安全のため、運転しながら Android™ スマートフォンの操作はしないでください。
Android™ スマートフォンを使用しないときは取りはずしてください。車内に放置すると、車内の高温と湿度で破損したりバッテリーが消耗することがあります。
Android™ スマートフォンのバッテリーが劣化しているときは、本機に接続しても充電や音楽再生などができない場合があります。

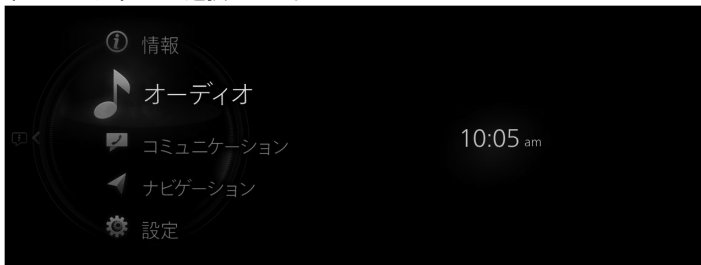
知識

- ・記録されているデータの消失、損傷といった万一に備えて、データはバックアップを取っておくことをおすすめします。

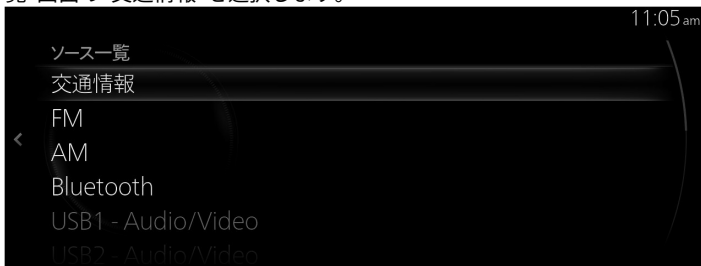
→ 3-6 ページ「Android Auto™」

交通情報

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



2. “ソース一覧”画面の“交通情報”を選択します。

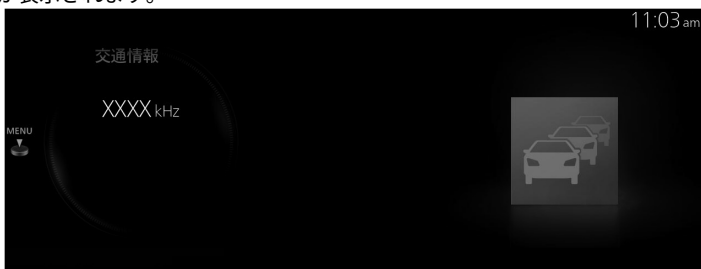


知識

視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンダースイッチの  を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

3. 再生画面が表示されます。



 を回して受信する周波数を切り替えます。

 が表示されているときに  を押してメニューを表示します。

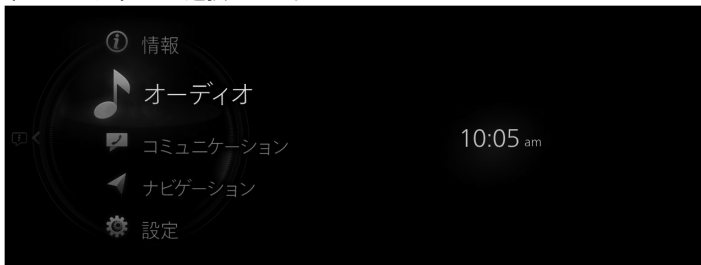
交通情報メニュー



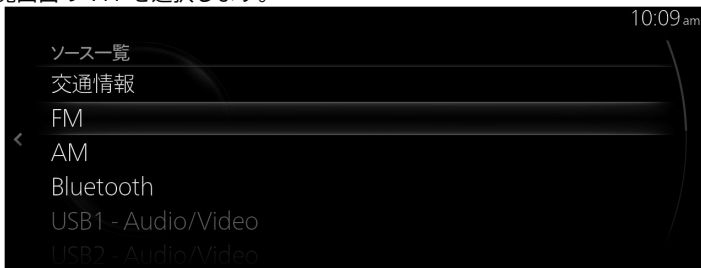
メニュー	説明
ソース一覧	ソース一覧画面を表示します。オーディオのソースを切り替えることができます。
周波数切り替え	“周波数切り替え”画面を表示します。 受信する周波数を切り替えることができます (1620kHz または 1629kHz)。
音響設定	音質を調節します。

FM

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



2. ソース一覧画面の“FM”を選択します。

 知識

視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンダースイッチの  を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

3. 再生画面が表示されます。



 を回して、FM の お気に入りリスト、または放送局一覧のうち、最後に表示したリストを表示します。

 が表示されているときに  を押してメニューを表示します。

FM ラジオメニュー



メニュー	説明
ソース一覧	ソース一覧画面を表示します。オーディオのソースを切り替えることができます。
お気に入り	FMのお気に入りリストを表示します。 お気に入りに登録された放送局リストが表示され、聞きたい放送局を選択できます。 お気に入りの登録件数が0件の場合は空のリストが表示されます。 お気に入りの登録方法については、1-15 ページの「お気に入り」を参照してください。
放送局一覧	放送局リストが表示され、聞きたい放送局を選択できます。 放送局リストは、受信 Ch.とエリア登録 Ch.から選択できます。詳しくは、[放送局リストの種別を変更する]を参照してください。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します。 各アイコンの操作方法は [コントロール画面 (アイコン) の使いかた] を参照してください。
周波数選択	表示される周波数ダイヤルを回して、聞きたい放送局を選択できます。
FM 設定*	リレー受信を選択できます。
音響設定	音質を調節します。

コントロール画面 (アイコン) の使いかた



 を回して操作したいアイコンを選択します。

アイコン	説明
	受信可能な放送局を探することができます。 周波数の低い方から高い方へ受信可能な放送局を 5 秒間ずつ受信します。聞きたい局が見つかったら、もう一度選択することで受信する周波数が固定されます。
	自動選局を開始します。周波数が 1 ステップずつ切り替わり、受信可能な放送局が見つかったら自動で停止します。
	自動選局中にもう一度アイコンを選択すると、自動選局をキャンセルします。 また、長押ししている間は受信可能な放送局が見つかったても自動停止せずに周波数を切り替え続けることができます。

放送局リストの種別を変更する



リストタイプメニューからリストの種別を選択できます。

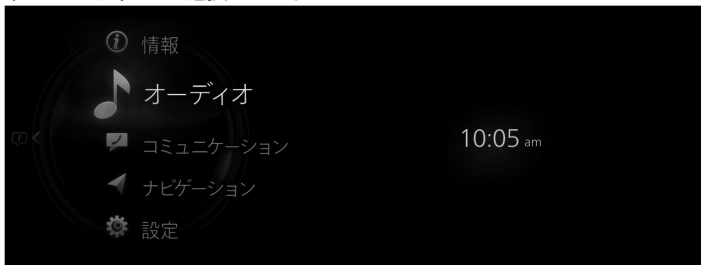
リストタイプ	説明
受信 Ch.	受信可能な放送局を表示します。 放送局名が表示されず、周波数のみ表示されることがあります。 次のような場合は、放送局名が表示されません。 ・地域のコミュニティ放送局 ・新たに中継局を増設した放送局
エリア登録 Ch.	本機が記憶している放送局の中から、自車位置に応じて受信可能と思われる放送局をリスト表示します。 受信状況によっては、リストにある放送局を受信することができない場合があります。

 知識

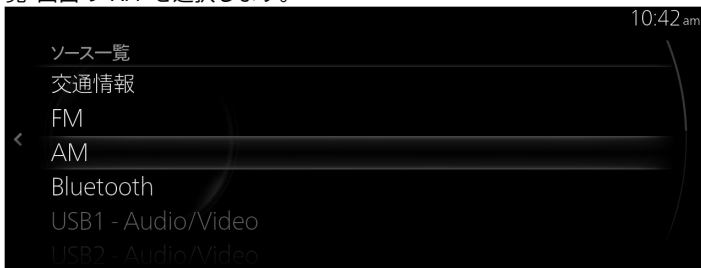
本機に記憶された放送局名は、放送局名称の変更などによって最新とは異なる場合があります。

AM

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



2. “ソース一覧”画面の“AM”を選択します。



知識

視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンダースイッチの  を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

3. 再生画面が表示されます。



MENU



を回して、AM のお気に入りリスト、または放送局一覧のうち、最後に表示したリストを表示します。

が表示されているときに  を押してメニューを表示します。

AM ラジオメニュー



メニュー	説明
ソース一覧	ソース一覧画面を表示します。オーディオのソースを切り替えることができます。
お気に入り	AM のお気に入りリストを表示します。 お気に入りに登録された放送局リストが表示され、聞きたい放送局を選択できます。 お気に入りの登録件数が 0 件の場合は空のリストが表示されます。 お気に入りの登録方法については、1-15 ページの「お気に入り」を参照してください。
放送局一覧	放送局リストが表示され、聞きたい放送局を選択できます。 放送局リストは、受信 Ch.とエリア登録 Ch.から選択できます。詳しくは、[放送局リストの種別を変更する]を参照してください。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します。 各アイコンの操作方法は [コントロール画面 (アイコン) の使いかた] を参照してください。
周波数選択	表示される周波数ダイヤルを回して、聞きたい放送局を選択できます。
AM 設定*	リレー受信を選択できます。
音響設定	音質を調節します。

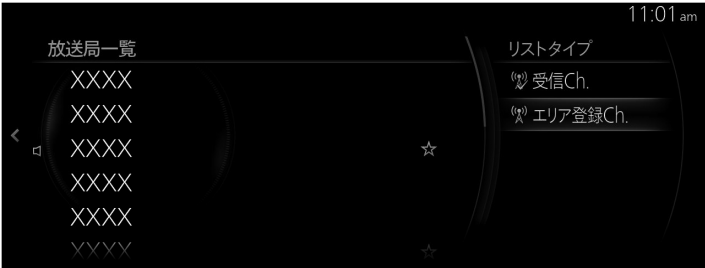
コントロール画面 (アイコン) の使いかた



 を回して操作したいアイコンを選択します。

アイコン	説明
	受信可能な放送局を探すことができます。 周波数の低い方から高い方へ受信可能な放送局を 5 秒間ずつ受信します。聞きたい局が見つかったら、もう一度選択することで受信する周波数が固定されます。
	自動選局を開始します。周波数が 1 ステップずつ切り替わり、受信可能な放送局が見つかったら自動で停止します。
	自動選局中にもう一度アイコンを選択すると、自動選局をキャンセルします。 また、長押ししている間は受信可能な放送局が見つかったても自動停止せずに周波数を切り替え続けることができます。

放送局リストの種別を変更する



リストタイプメニューからリストの種別を選択できます。

リストタイプ	説明
受信 Ch.	受信可能な放送局を表示します。 放送局名が表示されず、周波数のみ表示されることがあります。 次のような場合は、放送局名が表示されません。 ・ 地域のコミュニティ放送局 ・ 新たに中継局を増設した放送局
エリア登録 Ch.	本機が記憶している放送局の中から、自車位置に応じて受信可能と思われる放送局をリスト表示します。 受信状況によっては、リストにある放送局を受信することができない場合があります。

 知識

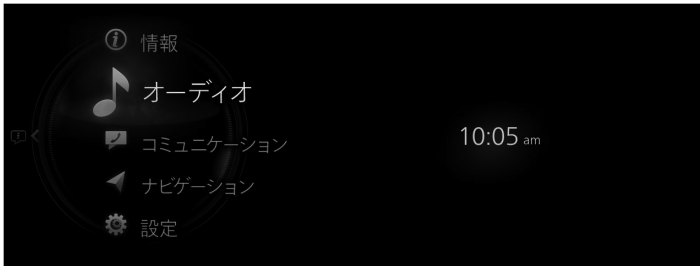
本機に記憶された放送局名は、放送局名称の変更などによって最新とは異なる場合があります。

Bluetooth®

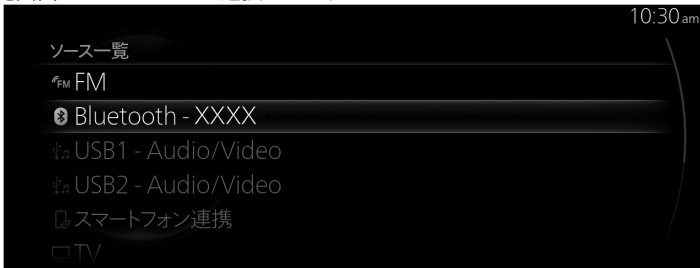
Bluetooth®オーディオ機器に保存されている音楽や音声を、センターディスプレイで操作するために Bluetooth® オーディオモードに切り替えてください。使用する前に Bluetooth® オーディオ機器をマツダコネク트에登録する必要があります。

→2-83 ページ 「通信 / モバイル機器連携」

1. Bluetooth®オーディオ機器の電源を ON にします。
2. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



3. ソース一覧画面の“Bluetooth”を選択します。

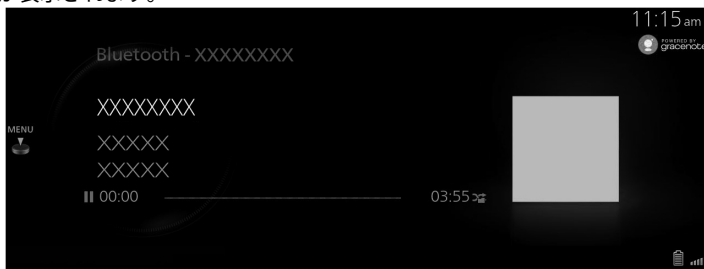


知識

視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンドースイッチのを押すと、ソース一覧画面が表示されます。

4. 再生画面が表示されます。

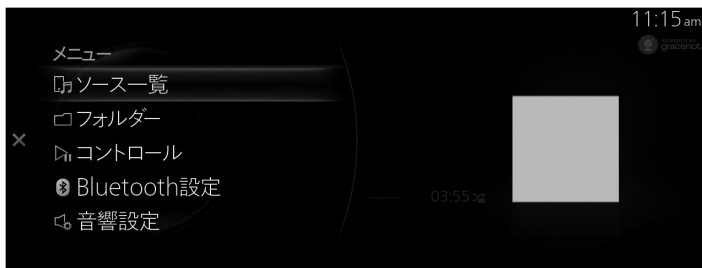


 を回すと、“再生リスト”を表示します。

 が表示されているときに  を押すと、メニューを表示します。

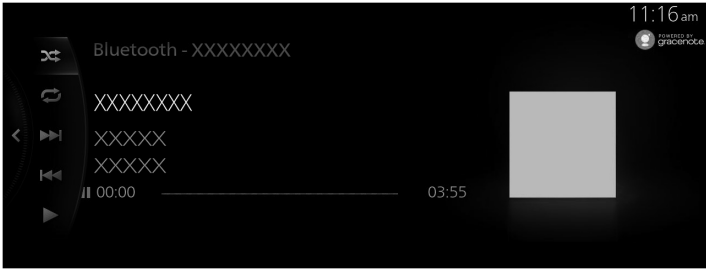
知識

- ・ 機器側でアプリケーション画面を表示していない場合、マツダコネクで Bluetooth®オーディオの再生ができないことがあります。
- ・ Bluetooth®オーディオ機器の再生が始まらない場合は、手動で再生を始める必要があります。Bluetooth®オーディオメニューから“コントロール”を選択し、▶️を選択してください。
- ・ モードが Bluetooth®オーディオモードから他のモード（ラジオモードなど）に切り替わると、Bluetooth®オーディオ機器からの再生は停止します。

Bluetooth® オーディオメニュー

メニュー	説明
ソース一覧	“ソース一覧”画面を表示します。 オーディオのソースを切り替えることができます。
フォルダー	一番上の階層のフォルダ/ファイルを表示します。 フォルダを選択すると、フォルダ内のファイルが表示されます。 聞きたいファイルを選択すると、聞きたいファイルの再生が始まります。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します。 各アイコンの操作方法はコントロール画面 (アイコン) の使いかたを 参照してください。
Bluetooth 設定	Bluetooth® の設定を変更できます。 →2-83 ページ 「通信 / モバイル機器連携」
音響設定	音質の調節をします。

コントロール画面 (アイコン) の使いかた



 を回して操作したいアイコンを選択します。

アイコン		説明
		現在選択しているフォルダ内の曲をランダム再生します。
		すべての曲をランダム再生します。
		ランダム再生を解除します。
		再生中の曲をリピート再生します。
		現在選択しているフォルダ内の曲をリピート再生します。
		すべての曲をリピート再生します。
		リピート再生を解除します。
		次のアルバムの頭に進みます。
		前のアルバムの頭にもどります。

アイコン	説明
	次の曲の頭に進みます。長押しすると早送りをします。離すと止まります。
	前の曲の頭にもどります。長押しすると早もどしをします。離すと止まります。
	(一時停止中に選択すると) 曲を再生します。
	(再生中に選択すると) 一時停止します。



知識

Bluetooth®オーディオ機器によっては、一部アイコンが表示されない場合があります。

Bluetooth® オーディオ機器情報表示

Bluetooth® オーディオ機器を接続すると、次の情報が画面に表示されます。

情報		AVRCP Ver. 1.3 未 満	AVRCP Ver. 1.3	AVRCP Ver. 1.4 以 上
プレイリスト情報	曲名リスト	—	—	○
	ファイル名	—	—	○
	フォルダの種類 (アーテ ィスト、アルバム、ジャン ルなど)	—	—	○
再生曲情報	曲名	—	○	○
	アルバム名	—	○	○
	アーティスト名	—	○	○
	再生時間	○	○	○

○: 表示
—: 非表示

 知識

機器によっては、一部の情報が表示できない場合があります。

USB1 Audio/USB2 Audio

市販の USB メモリーや音楽プレイヤーを本機の USB 端子に接続することで、オーディオ再生することができます。

警告

USB 端子に接続したコードが、チェンジレバー/セレクトレバーに絡まないようにする。運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

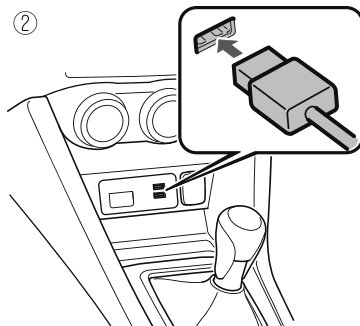
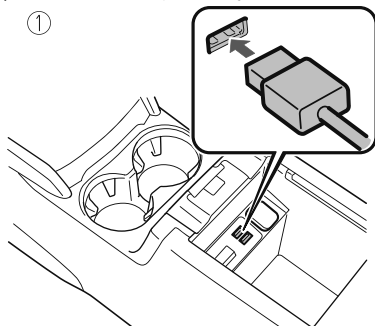
- ▶ プラグを接続した状態で、USB 端子の上やコンソールボックスのフタの上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。
- ▶ 接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります（ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください）。
- ▶ USB オーディオとして接続しているデバイスを、Bluetooth® オーディオとして本機に接続しないでください。正常に操作できなくなったり、予期しない動作を引き起こすことがあります。
- ▶ USB ポートに SD カードリーダーや USB ハブを接続しないでください。カードに書き込まれた音楽の再生には対応していません。ナビゲーションシステムが使用できなくなることがあります。またマウスやキーボードも接続しないでください。
- ▶ USB オーディオ機器を車内に放置しないでください。炎天下では車内が高温となり、故障の原因になります。
- ▶ SD カードスロットは、ナビゲーションシステム用です。ナビゲーションシステム用の SD カード（マツダ純正品）を差し込んで使用します。音楽ファイルが保存された SD カードを挿入しても再生できません。

知識

- ・ 接続する機器によっては、使用できない場合があります。
- ・ ご使用前に、市販のポータブルオーディオの取扱説明書をよくお読みください。
- ・ エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ・ 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- ・ プラグは USB 端子に確実に差し込んでください。
- ・ 本機では USB2.0/1.1 規格に対応したデバイスが利用できます。USB3.0 規格品であっても USB2.0 と互換のある機材であれば、USB2.0 デバイスとして利用可能です。

機器を接続する

USB ケーブルで、車両と USB オーディオ機器を接続します。プラグの抜き差しは USB 端子の穴に対して垂直におこなってください。



1. コンソールボックス取り付けタイプ
 2. インストルメントパネル取り付けタイプ
- USB 端子の位置は車種により異なります。

音楽を再生する



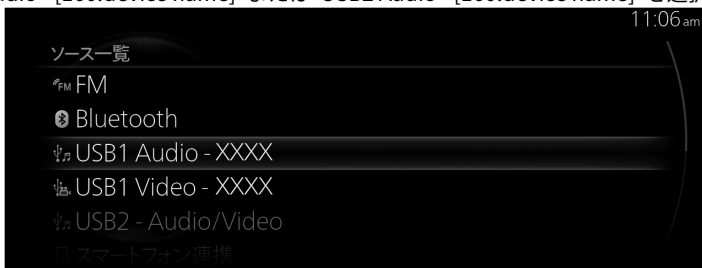
知識

- ・ USB メモリを使用する場合、容量や保存されたファイル数によっては再生できるまで時間がかかることがあります。
- ・ アルバムアートのサイズによっては、アルバムアートが表示できない場合があります。

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



2. “USB1 Audio - [160:device name]”または“USB2 Audio - [160:device name]”を選択します。

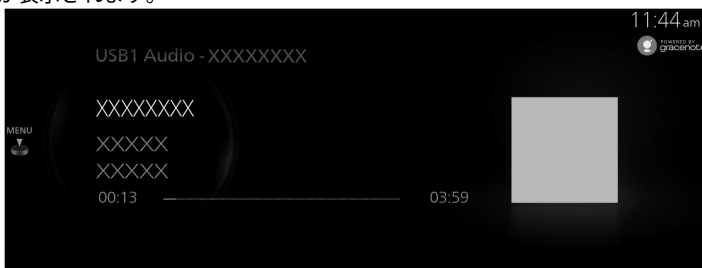


知識

視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンドースイッチの🎵を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

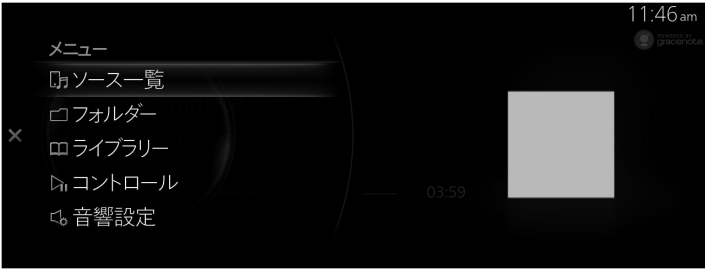
3. 再生画面が表示されます。



🎵を回して“曲一覧”を表示します。

🎵が表示されているときに🎵を押してメニューを表示します。

USB オーディオメニュー



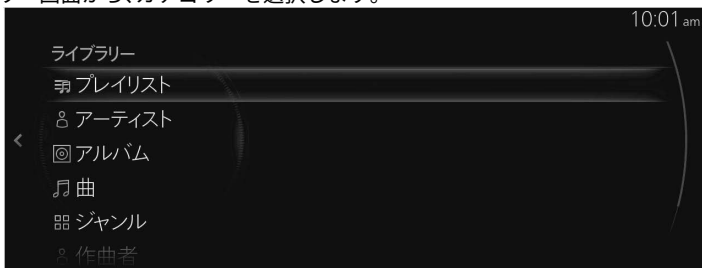
メニュー	説明
ソース一覧	“ソース一覧”画面を表示します。オーディオのソースを切り替えることができます。
フォルダー*1	フォルダリストを表示します。フォルダから聴きたい楽曲が選択できます。
プレイリスト*2	プレイリストを表示します。プレイリストから聴きたい楽曲が選択できます。
ライブラリー	“ライブラリー”画面を表示します。アルバムやアーティストなど、再生するカテゴリーを選択できます。 詳しくは[ライブラリーから曲を選択したいとき]を参照してください。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します。各アイコンの操作方法は [コントロール画面 (アイコン) の使いかた] を参照してください。
音響設定	音質を調節します。

*1 Apple 製品以外を接続したときに表示されます。

*2 Apple 製品を接続したときに表示されます。

ライブラリから曲を選択したいとき

1. ライブラリー画面から、カテゴリーを選択します。



2. カテゴリーリストから曲の再生方法を選択します。

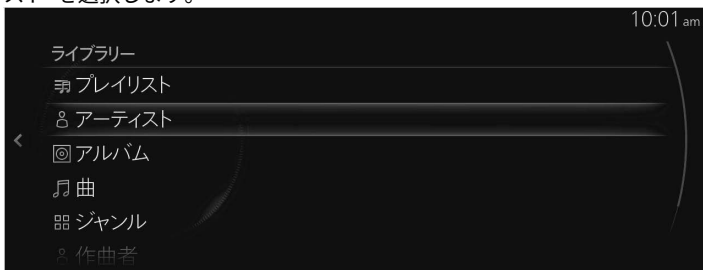
カテゴリー	説明
プレイリスト*1	プレイリスト一覧が表示され、選択したプレイリストをトラックリストとして再生します。
アーティスト	アーティスト一覧が表示され、選択したアーティストのアルバムまたは全曲をトラックリストとして再生します。
アルバム	アルバム一覧が表示され、選択したアルバムをトラックリストとして再生します。
曲	すべての曲の一覧が表示され、すべての曲をトラックリストとして再生します。また、アルファベット検索や 50 音検索で聞きたい曲が探せます。
ジャンル	曲のジャンル一覧が表示され、選択したジャンルの中でアーティスト別やアルバム別、またはすべての曲をトラックリストとして再生します。
作曲者	作曲者一覧が表示され、選択した作曲者のアルバムまたはすべての曲をトラックリストとして再生します。
ポッドキャスト*2	Podcast のリストが表示され、選択したエピソードを再生します。
オーディオブック*2	オーディオブックのリストが表示され、選択したチャプターを再生します。

*1 Apple 製品以外を接続したときに表示されます。

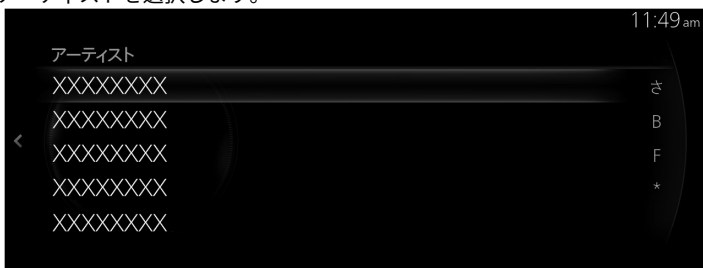
*2 Apple 製品を接続したときに表示されます。

使用例 (アーティストを選んで曲を再生するとき)

1. “アーティスト”を選択します。

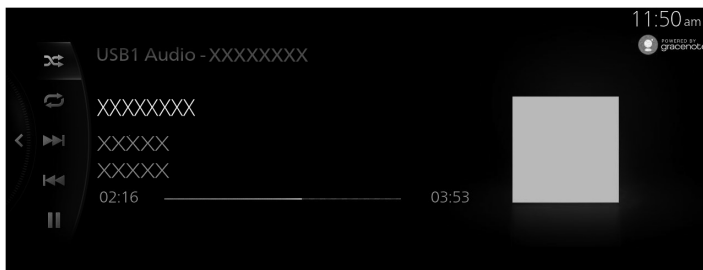


2. 聞きたいアーティストを選択します。



3. 表示された曲名の一覧から聞きたい曲名を選択します。選択した曲が再生されます。

コントロール画面 (アイコン) の使いかた



 を回して操作したいアイコンを選択します。

アイコン	説明	
	USB メモリーや音楽プレイヤーなど、Apple 製品以外の USB 機器を接続しているとき	
		現在選択しているフォルダ、またはアルバム内の曲をランダム再生します。
		すべての曲をランダム再生します。
		ランダム再生を解除します。
	Apple 製品を接続しているとき	
		現在選択しているアルバム内の曲をシャッフル再生します。
		再生中の曲をリピート再生します。
		現在選択しているフォルダ、プレイリスト、またはアルバム内の曲をリピート再生します。
		リピート再生を解除します。

アイコン	説明
	次の曲の頭に進みます。長押しすると早送りをします。離すと止まります。
	前の曲の頭にもどります。長押しすると早もどしをします。離すと止まります。
	(一時停止中に選択すると) 曲を再生します。
	(再生中に選択すると) 一時停止します。

USB オーディオ再生時に表示されるアルバムアートについて

USB オーディオ機器でオーディオを再生した場合、車両に収録されているデータベースの中からアルバムアートを検索し、データベースに収録されているとアルバムアートを表示します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote®音楽認識サービスのデータベース情報を使用しています。

 知識

- ・ 自動で付与されたアルバムアートは、実際と異なる場合があります。
 - ・ 音楽データの取り込み方によっては、アルバムアートが表示されないことがあります。

アルバムアート優先表示

USB オーディオ機器内に保存されているアルバムアートと Gracenote®データベースのアルバムアートのどちらを優先して表示するかを変更することができます。
アルバムアートの設定は、マツダコネクトホーム画面の“設定”で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。

データベースを更新する

USB オーディオ機器を使用して Gracenote® データベースを更新することができます。
システム画面から、“Gracenote データベース更新”を選択します。
→2-10 ページ「オーディオ」

USB1 Video/USB2 Video

市販の USB メモリーを本機の USB 端子に接続することで、ビデオ再生することができます。

警告

USB 端子に接続したコードが、チェンジレバー/セレクトレバーに絡まないようにする。
運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

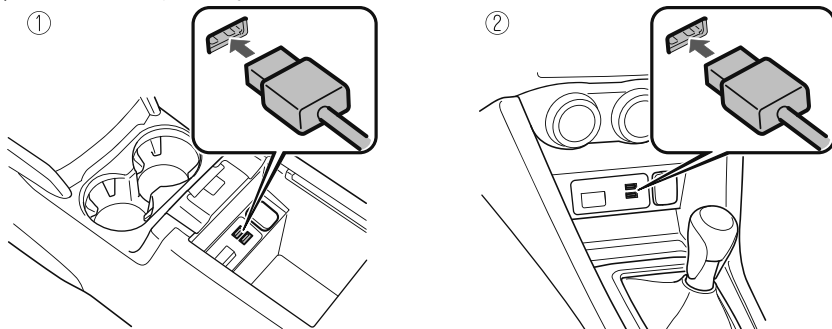
- プラグを接続した状態で、USB 端子の上やコンソールボックスのフタの上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。
- 接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります（ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください）。
- USB ビデオとして接続しているデバイスを、同時に Bluetooth® オーディオとして本機に接続しないでください。正常に操作できなくなったり、予期しない動作を引き起こすことがあります。
- USB ポートに SD カードリーダーや USB ハブを接続しないでください。カードに書き込まれた音楽の再生には対応していません。ナビゲーションシステムが使用できなくなることがあります。またマウスやキーボードも接続しないでください。
- USB オーディオ機器を車内に放置しないでください。炎天下では車内が高温となり、故障の原因になります。
- SD カードスロットは、ナビゲーションシステム用です。ナビゲーションシステム用の SD カード（マツダ純正品）を差し込んで使用します。音楽ファイルが保存された SD カードを挿入しても再生できません。

知識

- ・ 接続する機器によっては、使用できない場合があります。
- ・ ご使用前に、市販のポータブルオーディオの取扱説明書をよくお読みください。
- ・ エンジンを止めたままで、ビデオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ・ 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- ・ プラグは USB 端子に確実に差し込んでください。
- ・ 本機では USB2.0/1.1 規格に対応したデバイスが利用できます。USB3.0 規格品であっても USB2.0 と互換のある機材であれば、USB2.0 デバイスとして利用可能です。

機器を接続する

USB ケーブルで、車両と USB オーディオ機器を接続します。プラグの抜き差しは USB 端子の穴に対して垂直におこなってください。



1. コンソールボックス取り付けタイプ
 2. インストルメントパネル取り付けタイプ
- USB 端子の位置は車種により異なります。

ビデオを再生する



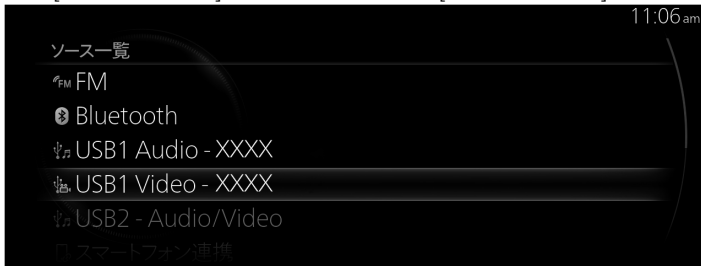
知識

- ・ USB メモリを使用する場合、容量や保存されたファイル数によっては再生できるまで時間がかかることがあります。
- ・ ビデオの再生は Apple 製品以外の USB メモリーや USB オーディオ機器に対応しています。

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



2. “USB1 Video - [11:device name]”または“USB2 Video - [11:device name]”を選択します。



知識

視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンドスイッチの  を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

3. 再生画面が表示されます。



知識

安全のため、走行中は映像が表示されず音声のみになり、一部の機能が制限されます。

 を回してビデオのリストを表示します。

 が表示されているときに  を押してメニューを表示します。

USB ビデオメニュー



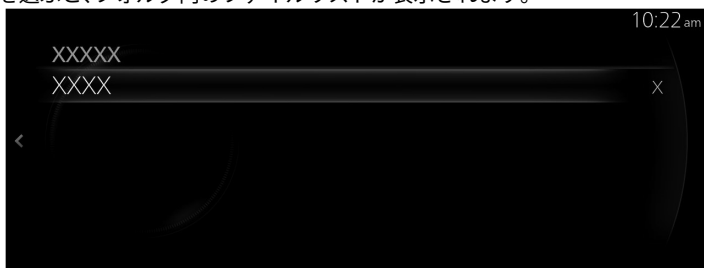
メニュー	説明
ソース一覧	“ソース一覧”画面を表示します。オーディオのソースを切り替えることができます。
フォルダー	“フォルダー”画面を表示します。 フォルダリストが表示され、フォルダから視聴したいビデオを選択できます。 選択方法については、[フォルダからビデオを選択したいとき]を参照してください。フォルダがない場合はフォルダ選択画面が省略されてファイル選択画面に移行します。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します。 各アイコンの操作方法は [コントロール画面 (アイコン) の使いかた] を参照してください。
画面サイズ設定	画面サイズを“ワイドスクリーン”/“レターボックス”/“パンスキャン”に切り替えることができます。
音響設定	音質を調節します。

フォルダからビデオを選択したいとき

1. “フォルダー”画面から、フォルダを選択します。



2. フォルダを選ぶと、フォルダ内のファイルリストが表示されます。



3. 視聴したいビデオを選択すると再生します。

コントロール画面 (アイコン) の使いかた

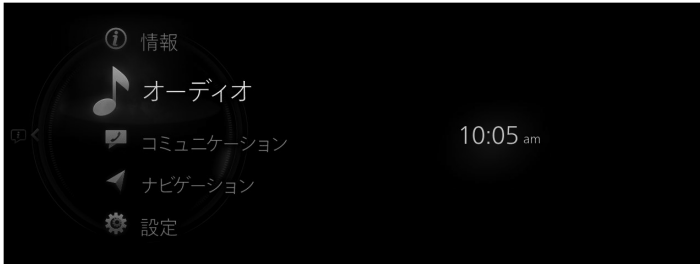


 を回して操作したいアイコンを選択します。

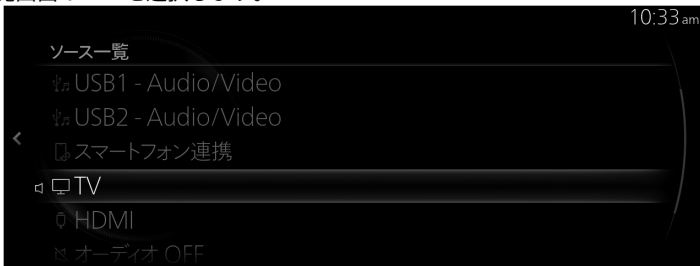
アイコン	説明
	次のビデオの頭に進みます。 長押しすると早送りをします。離すと止まります。
	前のビデオの頭にもどります。長押しすると早もどしをします。離すと止まります。
	ビデオをスロー再生にします。
	(停止中に選択すると) ビデオを再生します。 (スロー再生中に選択すると) スロー再生を解除します。
	(再生中に選択すると) 一時停止します。
	ビデオを停止します。

TV*

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



2. ソース一覧画面の“TV”を選択します。



知識

視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンドースイッチの  を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

3. 再生画面が表示されます。



知識

安全のため、走行中は映像が表示されず音声のみになり、一部の機能が制限されます。

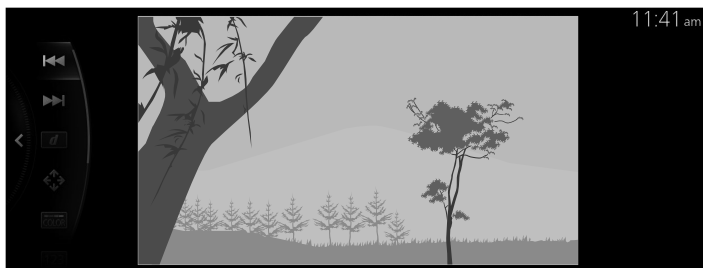
 を回して、TV の放送局一覧を表示します。
 が表示されているときに  を押してメニューを表示します。

TVメニュー



メニュー	説明
ソース一覧	ソース一覧画面を表示します。 オーディオのソースを切り替えることができます。
放送局一覧	放送局リストが表示され、視聴したい放送局を選択できます。 リストの種別を選択できます。詳しくは、[放送局リストの種別を変更する]を参照してください。
番組表	番組表が表示され、視聴したい放送局を選択できます。 現在放送していない番組を選択すると、番組情報が表示されます。  知識 ・サブチャンネルを選択することができます。表示切り替えメニューの“Ch. すべて”を選択すると、サブチャンネルが表示されます。 ・番組表は7日後まで表示できます。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します。各アイコンの操作方は [コントロール画面 (アイコン) の使いかた] を参照してください。 各アイコンの操作方は [コントロール画面 (アイコン) の使いかた] を参照してください。
表示/音声切り替え	字幕表示や主/副音声の切り替えができます。
TV 設定	テレビの設定画面を表示します。
音響設定	音質を調節します。

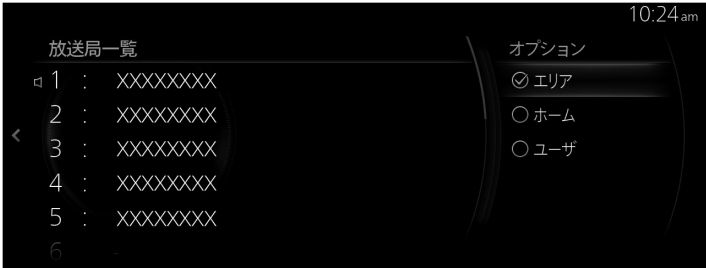
コントロール画面 (アイコン) の使いかた



 を回して操作したいアイコンを選択します。

アイコン	説明
	選局します。 放送局リストに記憶させておいた放送局を呼び出します。
	
	データ放送を表示します。
	データ放送のカーソルを操作するアイコンを表示します。  を回してアイコンを選択し、カーソルを操作します。
	データ放送を操作する色ボタンを表示します。  を回してアイコンを選択し、色ボタンを操作します。
	データ放送を操作するテンキーを表示します。  を回してアイコンを選択し、テンキーを操作します。
	データ放送のカーソル位置で決定します。
	データ放送操作画面を、ひとつ前に表示していた画面に戻ります。

放送局リストの種別を変更する



オプションメニューからリストの種別を選択できます。

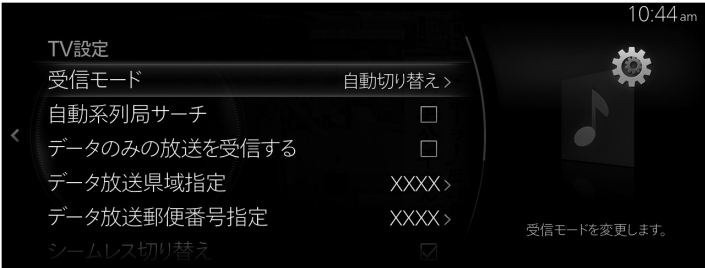
オプション	説明
エリア	本機が記憶している放送局の中から、自車位置に応じて受信可能と思われる放送局をリスト表示します。 受信状況によっては、リストにある放送局を受信することができない場合があります。
ホーム	初期スキャンで設定した放送局をリスト表示します。 リスト更新を選択すると、現在受信可能な放送局リストに更新されます。
ユーザ	任意の地点で更新した放送局をリスト表示します。 リスト更新を選択すると、現在受信可能な放送局リストに更新されます。

表示/音声切り替え

字幕表示や主/副音声の切り替えができます。

メニュー	説明
二重音声	主音声/副音声を切り替えます。
音声	音声の設定を変更します。視聴中の番組が複数の音声を提供している場合に、音声の種類を選択できます。
映像	映像の設定を変更します。視聴中の番組が複数の映像を提供している場合に、映像の種類を選択できます。
字幕	字幕の設定を変更します。
文字スーパー	文字スーパーの表示/非表示を変更します。

TV 設定



テレビの設定ができます。

メニュー	説明
受信モード	受信モードを変更します。
自動系列局サーチ	系列局への切り替えを有効/無効にします。
データのための放送を受信する	データのための放送を受信対象/対象外にします。
データ放送地域指定	データ放送の対象地域をリストから変更します。
データ放送郵便番号指定	データ放送の対象地域を郵便番号で変更します。
シームレス切り替え	ワンセグ・フルセグのシームレス切替を有効/無効にします。
初期スキャン	受信可能な放送局を放送局リストのホームに設定します。
TV 情報表示	ライセンス情報などを表示します。

コミュニケーション

スマートフォンなどの携帯機器とマツダコネクトを Bluetooth®で接続することで、ハンズフリー通話やショートメッセージ機能をご利用いただけます。

Bluetooth® ハンズフリー

車両の Bluetooth® ユニットに電波送信で Bluetooth® 機器 (携帯電話) を接続すると、電話に出たり電話をかけたりすることができます。



知識

- ・ 安全のため、車両が停止しているときのみペアリング (登録) することができます。ペアリングを行う前に、安全な場所に車両を止めてください。
- ・ Bluetooth® 機器の通信可能距離は約 10 メートル以内です。
- ・ Bluetooth® 機器によっては使用できない場合があります。対応する Bluetooth® 機器の情報はマツダ販売店に問い合わせください。

対応 Bluetooth® 規格 (推奨)

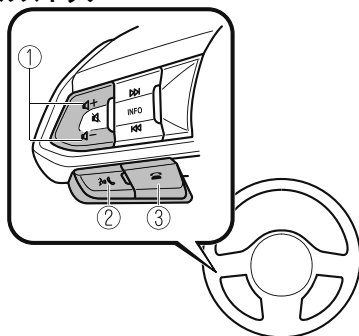
Ver. 1.1/1.2/2.0 + EDR/2.1 + EDR/3.0 (適合)および Bluetooth® Ver. 4.2 と互換性のあるもの

構成部品

センターディスプレイ

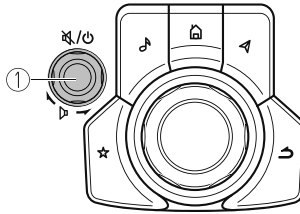


オーディオリモートコントロールスイッチ

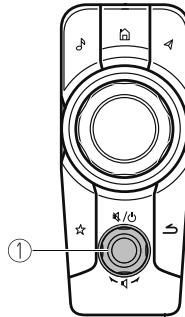


1. 音量調節ボタン
2. トークボタン/ピックアップボタン
3. ハングアップボタン

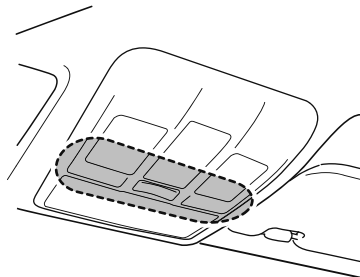
コマンダースイッチ (A タイプ)



1. 音量ノブ コマンダースイッチ (B タイプ)



1. 音量ノブ マイク*1



*1 一部の車種では、マイクがセンターディスプレイ付近に搭載されている場合があります。
ディスプレイや各スイッチの形状は車種により異なる場合があります。

音量調節ボタン

音声ガイダンスと通話音量の調節をします。

トーク/ピックアップボタン

音声認識を起動したり、音声ガイダンスをスキップします。
また電話着信中に押すと、電話に応答します。

ハングアップボタン

通話を終了したり、電話着信を拒否します。
また音声認識操作を終了します。

音声ノブ

オーディオリモートコントロールスイッチの音量調節ボタンと同様に、音声ガイダンスと通話音量の調節をします。右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと音量が小さくなります。

マイク (ハンズフリー)

マイクは音声認識での音声コマンド入力や、ハンズフリー通話に使用します。



知識

他のオーディオモードと比べて、音量が小さいと感じた場合は、機器側の音量を上げてください。

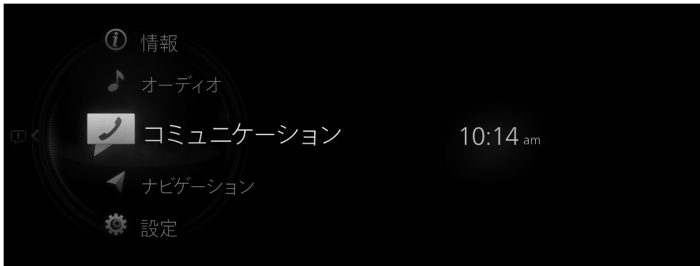
▼ 電話のかけかた

マツダコネクトでは、次の 6 つの方法から電話をかけることができます。

- ・ お気に入り
- ・ 履歴
- ・ Bluetooth® 機器(携帯電話) からダウンロードした電話帳 (音声認識機能が使えます)
- ・ 電話番号ダイヤル (音声認識機能が使えます)
- ・ 「リダイヤル」 - 最新の発信履歴に電話をかける音声認識コマンド。

お気に入りから電話を発信する

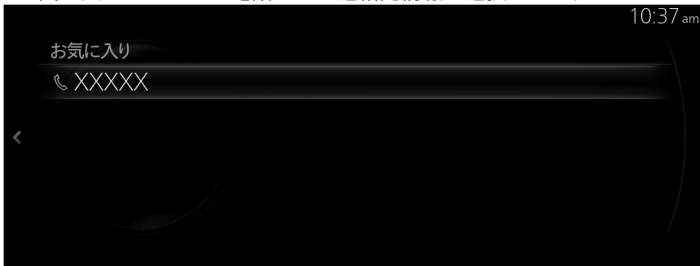
1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



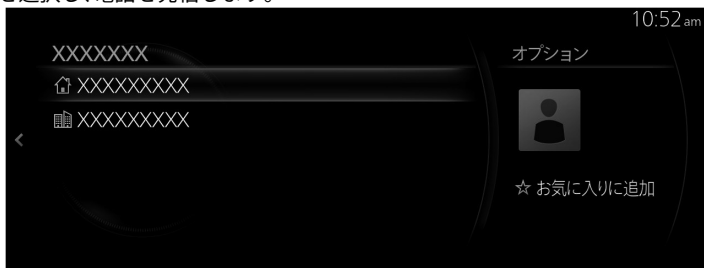
2. “お気に入り”を選択します。



3. 表示されたお気に入りリストから電話したい連絡先情報を選択します。



4. 電話番号を選択し、電話を発信します。



履歴（発信履歴、着信履歴）を利用して電話をかける

音声での操作

携帯電話/車両から、最後に電話をかけた相手（発信履歴の最新の人物）に電話を発信します。

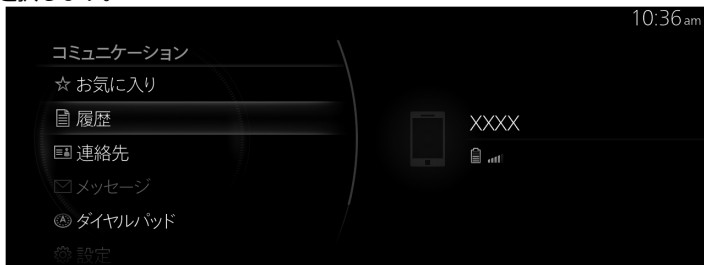
1. オーディオリモートコントロールスイッチの  を押します。
2. 発話: 「リダイヤル」

センターディスプレイでの操作

1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



2. “履歴”を選択します。



3. 表示された履歴から電話を発信したい連絡先または電話番号を選択し、電話を発信します。



連絡先 (電話帳) を利用して電話する

音声での操作

ダウンロードされた電話帳の中から、連絡先を発信することによって発信することができます。

1. オーディオリモートコントロールスイッチの を押します。
2. 発話: 「連絡先でかける <連絡先>」
カッコ内の連絡先には、電話帳に登録されている人物名を発話してください。また、電話帳の登録内容により、「自宅」、「会社」、「携帯」または「その他」から発信する電話番号の種類を使い分けすることができます。
3. 電話を発信するために、音声ガイダンスに従ってください。

知識

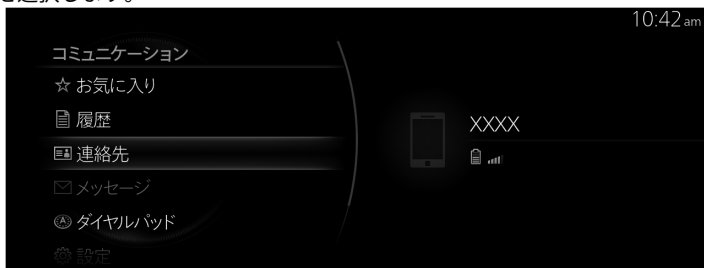
- ・ 事前にダウンロードしておいた連絡先を利用して電話をかけます。
- ・ → 2-68 ページ「電話帳をダウンロードする」
- ・ Bluetooth®機器側の電話帳にふりがな情報と電話番号の種類が未登録の場合、音声認識で電話帳を呼びだすことができません。
- ・ 電話帳に登録されている、ふりがな情報通りに発話してください。

センターディスプレイでの操作

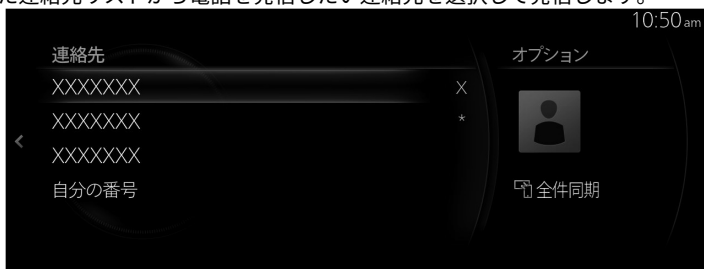
1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



2. “連絡先”を選択します。



3. 表示された連絡先リストから電話を発信したい連絡先を選択して発信します。



4. 電話番号を選択して発信します。



電話番号を入力して電話する



知識

安全な駐車位置から電話をかけてください。その後、運転をすることだけに注意できるようになってから、運転し始めてください。

音声での操作

電話番号を発話することによって発信することができます。

- オーディオリモートコントロールスイッチのを押します。
- 発話: 「電話番号でかける <電話番号>」
- 電話を発信するために、音声ガイダンスに従ってください。

センターディスプレイでの操作

1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。

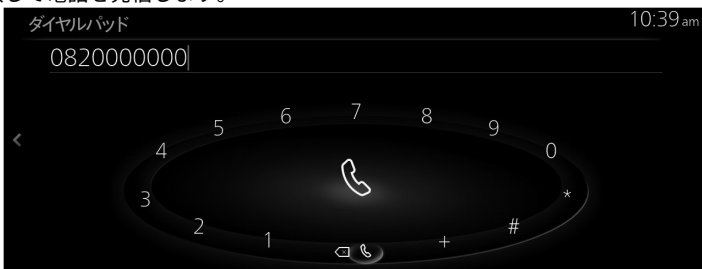


2. “ダイヤルパッド”を選択します。



3. ダイヤルパッドを使って電話番号を入力します。

4. ☎を選択して電話を発信します。

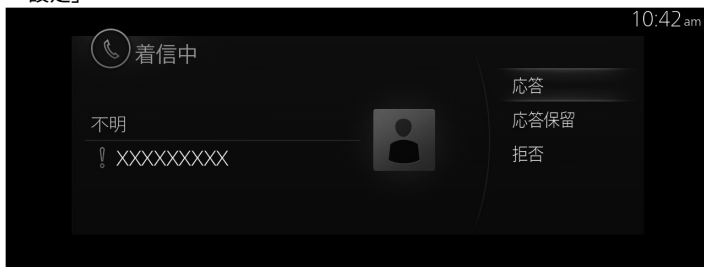


知識

- ・  を選択すると、ひとつ前の入力番号を削除します。
- ・  を長押しすると、すべての入力番号を削除します。

▼ 電話の受けかた

着信通知の設定が ON になっているときに、電話の着信があると、着信通知画面が表示されます。
→2-77 ページ「設定」



通話を開始するには、オーディオリモートコントロールスイッチの  を押すか画面上の“応答”を選択します。

応答を保留するには、画面上の“応答保留”を選択します。

着信を拒否するには、オーディオリモートコントロールスイッチの  を押すか画面上の“拒否”を選択します。



知識

- ・ 着信通知を OFF に設定すると、着信通知画面が表示されずかかってきた電話は着信拒否されます。
- ・ 携帯電話の契約により、“応答保留”が使用できない場合があります。

▼ 通話中にできること

通話中画面には、次のメニューが表示されます。使用状況によって表示されるメニューは異なります。



	説明
電話を切る	通話を終了します。
携帯機器で通話	ハンズフリーから携帯電話に電話を転送します。 本機と Bluetooth® 機器の間の通信が取り消され、通常の電話として機器 (携帯電話) 側で受けるように切り替えます。
ハンズフリー	機器 (携帯電話) からハンズフリーに電話を転送します。 機器 (携帯電話) と接続し、Bluetooth®ハンズフリーの通話に切り替えます。
マイクミュート	通話中にマイクを消音します。
マイクミュート解除	通話中にマイクの消音を解除します。
通話相手を追加	通話中に別の相手に発信して三者通話ができます。 次の中から連絡先を選択して発信します。 履歴 : 通話履歴が表示されます。 連絡先 : 電話帳が表示されます。 ダイヤルパッド : ダイヤルパッドが表示されます。電話番号を入力します。 機器の契約内容によっては使用できない場合があります。
ダイヤルパッド	DTMF (Dual Tone Multi-Frequency Signal) 送信 ダイヤルパッドで DTMF を送信する場合、この機能を使用します。 一般的に、DTMF 送信を要求するものは家庭用電話の留守番電話、または会社の自動ガイダンスコールセンターです。 ダイヤルパッドを使用して、番号を入力します。
トーン送信	(現在通話中の連絡先に、電話番号と DTMF データを登録しているとき) 電話番号に続く区切り記号 (p または w) 以降の DTMF データを送信します。

▼ 電話帳をダウンロードする

Bluetooth®を使用することで、Bluetooth®機器から電話帳のデータを本機の連絡先に登録することができます。

自動ダウンロード

連絡先と履歴の自動同期の設定が ON になっている場合は、Bluetooth®機器が接続されたときに自動的にダウンロードされます。

→2-77 ページ「設定」

手動ダウンロード

連絡先と履歴の自動同期の設定が OFF の場合、次の手順で電話帳のダウンロードを行ないます。

1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



2. “連絡先”を選択します。



3. “全件同期”を選択します。



📖 知識

- ・ 電話帳のダウンロードは、Bluetooth®の PBAP プロファイルを使用します。
- ・ 最大 5,000 件までの連絡先を登録することができます。
- ・ 電話帳、着信/発信履歴、およびお気に入りメモリは、プライバシーを保護するために、ペアリングをした Bluetooth®機器ごとに独立して保存しています。
- ・ Bluetooth® 機器から電話帳をダウンロードするには、本機での操作の他に、Bluetooth® 機器側の操作が必要になる場合があります。詳しくは Bluetooth® 機器の取扱書をご参照ください。
- ・ 電話番号とふりがな情報のない連絡先は登録しません。

▼ 連絡先をお気に入り登録する

最大 100 件の連絡先を登録することができます。電話番号を登録すると、電話帳の中から電話したい人を探す必要がなく、より早く電話を発信することができます。

📖 知識

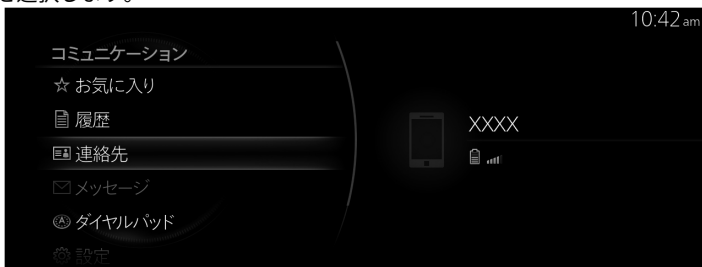
事前に連絡先を入力(電話帳をダウンロード)する必要があります。
→2-68 ページ「電話帳をダウンロードする」

お気に入りに登録する

1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



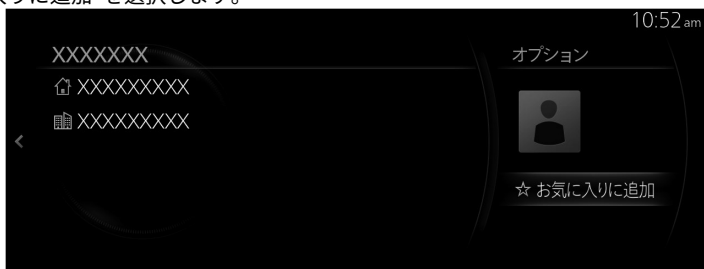
2. “連絡先”を選択します。



3. 表示された連絡先リストからお気に入りに登録したい連絡先を選択します。



4. “お気に入りに追加”を選択します。



知識

バッテリーを切り離しても、お気に入りリストは消去されません。

お気に入りから削除する/お気に入りの連絡先名を変更する

お気に入りの削除やお気に入りの連絡先名の変更については、次のページを参照してください。
→1-15 ページ「お気に入り」

▼ メッセージの受信と返信

接続している Bluetooth® 機器が受信した SMS(Short Message Service)メッセージをダウンロードしてセンターディスプレイに表示したり、人工音声で読みあげることができます。また、受信したメッセージに定型文を返信したり、その番号に電話することができます。

知識

ご使用の Bluetooth® 機器によっては Bluetooth® 機器での設定が必要です。

メッセージをダウンロードする

接続している Bluetooth® 機器 から、最新 50 件までのメッセージをダウンロードし、表示することができます。

自動ダウンロード

メッセージの自動同期の設定が ON になっている場合、Bluetooth® 機器が接続されたときに自動的にダウンロードされます。

→2-77 ページ「設定」

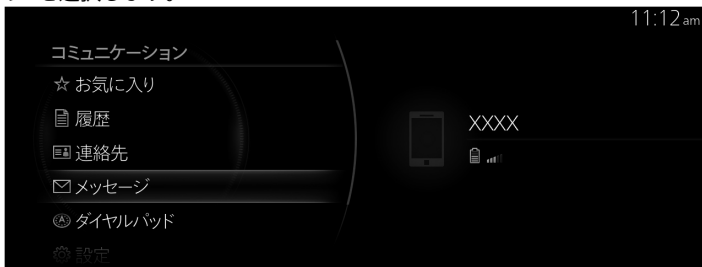
手動ダウンロード

メッセージの自動同期の設定が OFF の場合、次の手順でメッセージのダウンロードを行います。

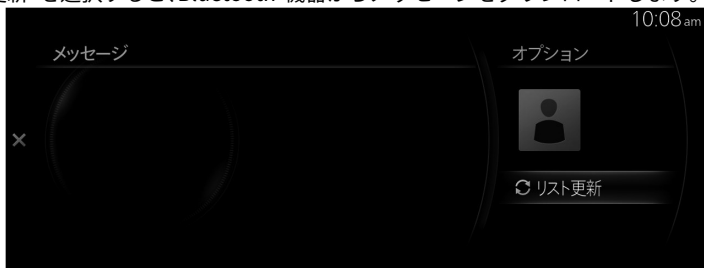
1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



2. “メッセージ”を選択します。



3. “リスト更新”を選択すると、Bluetooth®機器からメッセージをダウンロードします。



知識

- ・添付データはダウンロードされません。
- ・160 文字までのメッセージをダウンロードできます。
- ・プライバシーを保護するために、ペアリングした Bluetooth® 機器ごとに独立して保存しています。
- ・ショートメッセージ機能は Bluetooth® の MAP プロファイルを使用します。
- ・Bluetooth®機器からメッセージの受信と返信をおこなうには、本機での操作の他に Bluetooth®機器側の操作や設定が必要になる場合があります。詳しくは Bluetooth®機器の取扱書をご参照ください。

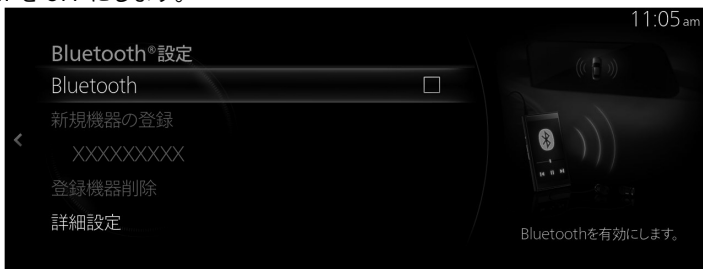
iPhone の場合

知識

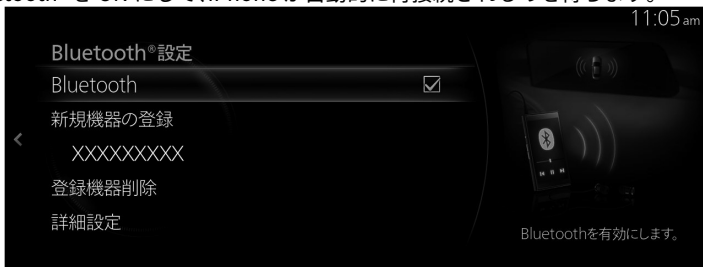
- ・iPhone を接続する場合、機種によっては次の機能は利用できません。
 - ・過去メッセージのダウンロード
 - ・メッセージへの返信

ペアリング済みで接続されている状態から次の操作をおこないます。

1. **(iPhone 操作)**
設定メニュー→Bluetooth→デバイス「Mazda」を選択します。
2. **(iPhone 操作)**
「通知を表示」項目の設定を ON にします。
3. **(本機の操作)**
Bluetooth®を OFF にします。



4. **(本機の操作)**
再度 Bluetooth®を ON にして、iPhone が自動的に再接続されるのを待ちます。

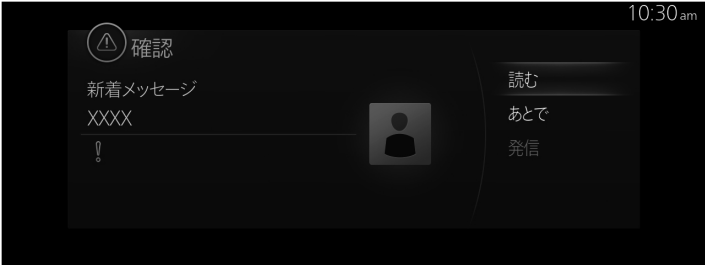


5. **(本機の操作)**
iPhone 接続後、“メッセージ”が選択できればご利用可能です。



メッセージを受信したとき

メッセージ新着通知の設定が On になっているときに、Bluetooth® 機器がメッセージを受信すると、メッセージ受信通知が表示されます。
→2-77 ページ「設定」
“読む”を選択すると、メッセージが表示されます。



メッセージ詳細画面では次のメニューが表示されます。使用状況によって表示されるメニューは異なります。

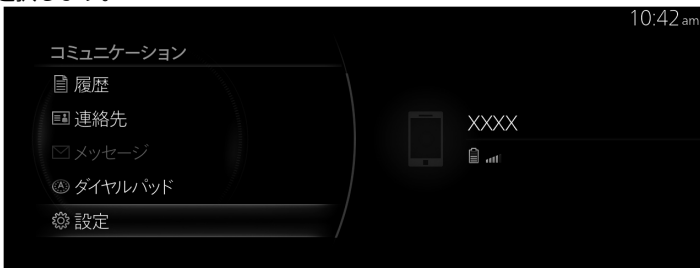
	説明
再生	表示中の受信メッセージを音声再生します。
一時停止	受信メッセージの音声再生を一時停止します。
前へ	前のメッセージを表示します。
次へ	次のメッセージを表示します。
返信	表示中の受信メッセージの送信者のみに返信します。 表示された返信画面の本文を選択して、送信する文章を定型文から選択します。
電話をかける	表示中の受信メッセージの送信者に電話をかけます。 送信者の電話番号が非通知の場合は、電話を発信することができません。

定型文を編集する

1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



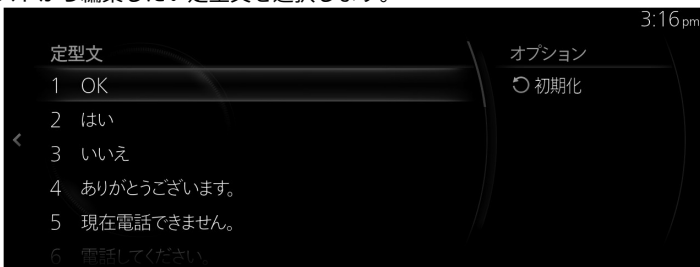
2. “設定”を選択します。



3. “定型文”を選択します。



4. 定型文リストから編集したい定型文を選択します。



5. 変更したいメッセージ内容を入力し、✓を選択すると定型文として保存されます。



知識

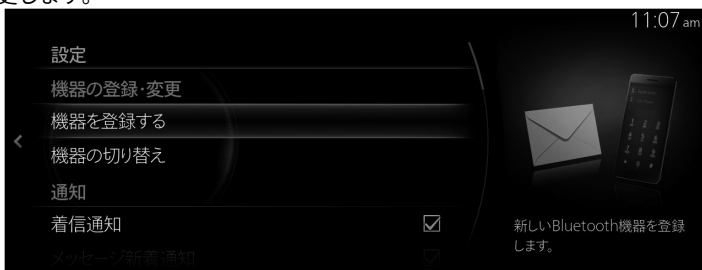
- ・  を選択すると、ひとつ前の文字を削除します。長押しすると、入力したすべての文字を削除します。
- ・  を左に倒すと、編集を保存せずに前の画面にもどります。

▼ 設定

1. ホーム画面の“コミュニケーション”を選択します。



2. “設定”を選択すると設定リストが表示されます。設定リストから変更したいメニューを選択して、設定を変更します。



メニュー		説明
機器の登録・変更	機器を登録する	Bluetooth® 機器の接続設定をします。 → 2-83 ページ 「通信 / モバイル機器連携」
	機器の切り替え	接続する Bluetooth® 機器を切り替えることができます。 → 2-83 ページ 「通信 / モバイル機器連携」
通知	着信通知	チェック状態を切り替えることで電話の着信があったときの通知の ON/OFF 設定ができます。
	メッセージ新着通知	チェック状態を切り替えることで新たにメッセージを受信したときの通知の ON/OFF 設定ができます。
	同期完了通知	チェック状態を切り替えることで Bluetooth® 機器と同期が完了したときの通知の ON/OFF 設定ができます。

メニュー		説明
同期	メッセージの自動同期	チェックを入れて ON にすると、Bluetooth®機器が接続されたとき、自動的に SMS メッセージをダウンロードします。
	連絡先と履歴の自動同期	チェックを入れて ON にすると、Bluetooth® 機器が接続されたとき、自動的に電話帳と通話履歴をダウンロードします。
着信・受信・読み上げ音	着信音 ^{*1}	着信音の種類を変更します。 車両 : 車両に標準設定されている着信音 携帯 : Bluetooth®機器 で設定している着信音
	着信音量	着信音量を調節します。
	メッセージ受信音量	メッセージ受信音量を調節します。
	自動本文読み上げ	チェックを入れて ON にすると、自動で受信メッセージを音声再生します。
	本文読み上げ音量	メッセージの音声再生音量を調整します。
その他	連絡先の画像表示	チェックを入れて ON にすると、連絡先に画像が表示されるようになります。
	連絡先の表示方法	連絡先の表示順を並び替えます。 名前・苗字 : 名前、苗字の順で並び替えます。 苗字・名前 : 苗字、名前の順で並び替えます。
	定型文	定型文を編集します。 → 2-71 ページ「メッセージの受信と返信」
	署名	チェックを入れて ON にすると、メッセージ送信するときに署名を追加します。

*1 接続している Bluetooth® 機器によっては“携帯”が選択できない場合があります。

ナビゲーション*

ナビゲーションシステム用 SD カードが差し込まれている場合に、ナビゲーションシステムが使用できません。

ナビゲーションシステム用 SD カードが差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。コンパスは、車両停車時、または低速走行時には、正しい方位を示さない場合があります。

ナビゲーションシステムの操作については、ナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。

設定

車両には、設定を変更することが可能なシステム/装備が付いており、作動などをお客さまの好みに応じて変更することができます。

車両の仕様によって、設定を変更できる機能や内容が異なります。

車両で設定を変更できる項目のみ自動的に表示します。

詳しくは、マツダ販売店にご相談ください。



知識

- ・機能によっては、他の機能と連動して設定が変更できないものもあります。
- ・車両のソフトウェアのアップデートにより、設定変更の内容を予告なしに変更することがあります。

設定変更の方法

1. マツダコネクトのホーム画面から、“設定”を選択します。
2. 表示された内容から、設定を変更したい項目を選択します。
3. 機能の設定を変更します。



知識

項目にチェックボックスがある機能は、チェックを入れる (☒) と ON、チェックをはずす (☐) と OFF になります。

設定変更ができるシステム/装備一覧

画面表示

ディスプレイの輝度、コントラスト、表示内容などの設定をします。

- ・アクティブ・ドライビング・ディスプレイ
- ・マツダコネクト

サウンド

オーディオや警報音などの設定をします。

- ・音響設定
- ・通知・警報音量
- ・操作音量

安全装備

i-ACTIVSENSE の設定をします。

- ・運転支援

- ・ リスク警報
- ・ リスク回避支援
- ・ 事故回避支援
- ・ ビューモニター
- ・ パーキングセンサー
- ・ スピードアラーム

車両装備

ライトやドアロックなど車両装備の設定をします。

- ・ ステアリングシフトスイッチ
- ・ ドア
- ・ エクステリアライト
- ・ インテリアライト
- ・ オートワイパー
- ・ 方向指示器
- ・ リアシート アラート

通信 / モバイル機器連携

モバイル機器との接続方法を設定します。
→2-83 ページ 「通信 / モバイル機器連携」

- ・ Bluetooth®設定
- ・ スマートフォン連携
- ・ Bluetooth® / スマートフォン連携
- ・ Wi-Fi クライアント設定

Alexa

Alexa の設定をします。

- ・ 設定
- ・ 試してみよう!
- ・ サインアウト

システム

言語や操作などの一般的な設定をします。

- ・ 時計*1
- ・ ドライバー選択
- ・ 音声認識設定
- ・ 言語
- ・ 温度
- ・ 距離/速度
- ・ Gracenote データベース更新
- ・ Gracenote データベース優先表示
- ・ ETC 音量
- ・ インターネット接続
- ・ ソフトウェア更新
- ・ システム情報

・ 設定初期化

*1 “時計”内の“手動調整”項目は、“GPS 同期”項目が無効なときに設定変更ができます。

通信 / モバイル機器連携

Bluetooth®設定、Bluetooth® / スマートフォン連携

ON/OFF などを設定します。

機能	説明
Bluetooth	Bluetooth®を使用するときは ON にします。チェック状態が ON、チェックが外れた状態は OFF となります。
新規機器の登録	新しい Bluetooth 機器を登録します。
<登録されている Bluetooth® 機器名>	指定した機器の接続を変更します。
接続設定	登録した機器の接続順などを設定します。
登録機器削除	登録機器を削除します。
詳細設定	Bluetooth®の自動接続の ON/OFF や接続順の設定、Bluetooth®設定の初期化などができます。

知識

- ・ Apple CarPlay 接続中は、Bluetooth®接続を利用できません。Bluetooth®を接続したい場合は、Apple CarPlay を終了してください。
- ・ Android Auto™接続中に機器の登録 (ペアリング) や接続機器の変更をする場合は、Android Auto™を終了してください。

Bluetooth®の登録

機器の登録 (ペアリング)

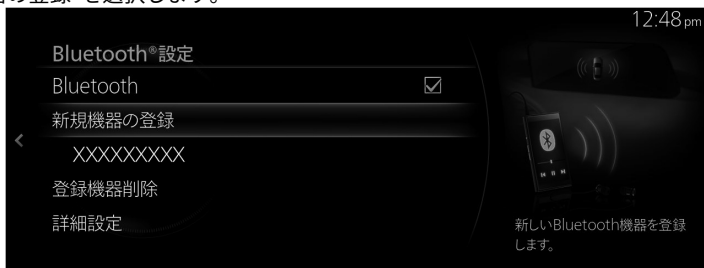
Bluetooth®オーディオとハンズフリーを使用するには、次の手順で Bluetooth®機器を登録します。Bluetooth®通信機能のあるポータブルオーディオ機器、または携帯電話を 5 台まで登録することができます。

知識

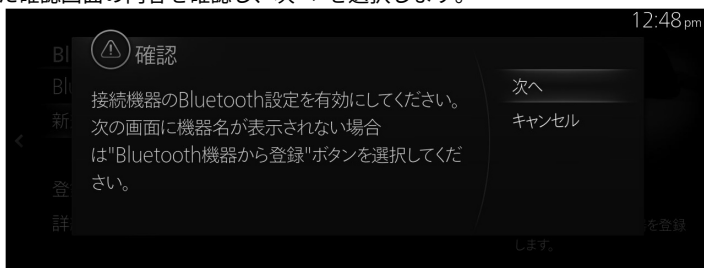
Bluetooth®は、電源ポジションを ACC、または ON に切り替えた後、1~2 分間操作できない場合がありますが異常ではありません。1~2 分経過後も Bluetooth®機器が自動接続されない場合は、Bluetooth®機器の Bluetooth®設定が正常であることを確認のうえ、マツダコネクト側から Bluetooth®機器に再接続を試みてください。

ペアリング手順

1. “新規機器の登録”を選択します。



2. 表示された確認画面の内容を確認し、“次へ”を選択します。



3. 表示された Bluetooth®機器のリストから、接続したい機器名を選択します。



4. (Bluetooth®機器が Bluetooth®バージョン 2.0 以前の機器の場合)

[Bluetooth®機器での操作]

センターディスプレイに表示された 4 桁のパスコードが Bluetooth®機器にも表示されていることを確認してください。

(Bluetooth®機器が Bluetooth®バージョン 2.1 以上の場合)

[Bluetooth®機器での操作]

センターディスプレイに表示された 6 桁のパスコードが Bluetooth®機器にも表示されていることを確認してください。

5. ペアリングに成功すると、センターディスプレイに完了画面が表示されます。

手順 3 で接続したい Bluetooth®機器名がリストに表示されない場合

1. リスト最上部の“Bluetooth 機器から登録”を選択します。
2. [Bluetooth®機器での操作]
Bluetooth®機器の検索結果リストに表示された“Mazda”を選択し、パスコードを確認するか、パスコードを入力してください。
3. ペアリングに成功すると、完了画面が表示されます。



知識

- ・ Bluetooth®機器が電話帳インポートやショートメッセージ機能に対応している場合は、電話帳や通話履歴、ショートメッセージ (SMS) がダウンロードされます。
- ・ 電話帳インポートやショートメッセージ機能の動作には、Bluetooth®機器でダウンロード許可操作を実行する必要がある場合があります。
- ・ Bluetooth®機器の Bluetooth®接続については、Bluetooth®機器の取扱書を必ず参照してください。

ペアリングと自動再接続について

ペアリングが完了すると、次のシステム起動時に、前回の Bluetooth®接続を自動的に復元しようとします。Bluetooth®ハンズフリー機能を ON、または電源ポジションを OFF から ACC に切り替えると、機器の接続状態が画面に表示されます。



知識

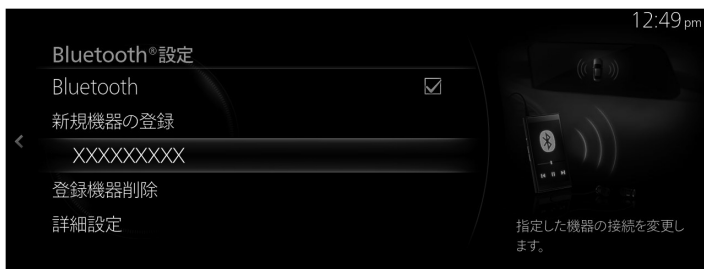
- ・ 同じ Bluetooth®機器のペアリングをやり直す場合は、Bluetooth®機器から「Mazda」を一度削除する必要があります。
- ・ Bluetooth®機器と車両のペアリング情報をどちらか一方で削除した場合、ペアリング相手側も一旦登録を削除し、再度ペアリングする必要があります。
- ・ マツダコネクタ起動時の Bluetooth®自動接続は Bluetooth®機器が接続可能な状態である必要があります。
- ・ ペアリングする前に、機器と車両の両方の Bluetooth®の設定が ON になっていることを確認してください。

Bluetooth® 機器の選択

複数の Bluetooth® 機器をペアリングしているときは、接続する Bluetooth® を選択することができます。他のペアリング済み Bluetooth® 機器と接続したいときは、次の手順で Bluetooth® 機器の接続を変更します。

他の Bluetooth® 機器を接続する

1. Bluetooth® 設定画面に表示されている Bluetooth® 機器のリストから接続したい機器の名前を選択します。



2. 接続方法を選択します。



- ・ **Apple CarPlay:** Apple CarPlay を使用する場合、ON にします。チェックが入っている場合は、ON の状態です。チェックが外れている場合は、OFF の状態です。
- ・ **Android Auto:** Android Auto™ を使用する場合、ON にします。チェックが入っている場合は、ON の状態です。チェックが外れている場合は、OFF の状態です。
- ・ **電話とオーディオ:** ハンズフリーと Bluetooth® オーディオ両方の機器として接続します。
- ・ **電話のみ:** ハンズフリー機器として接続します。
- ・ **オーディオのみ:** Bluetooth® オーディオとして接続します。

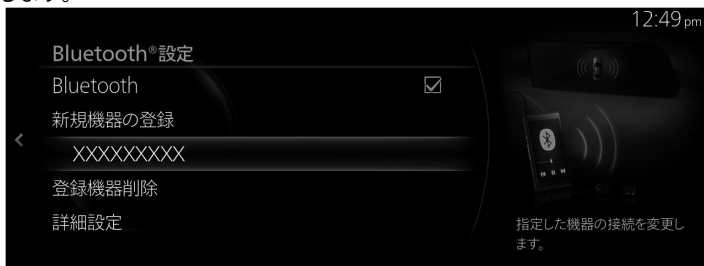


知識

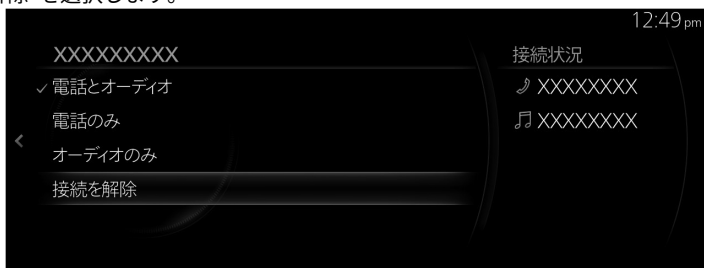
- ・ ハンズフリー、またはオーディオは、次の機能を使用することができます。
 - ・ **ハンズフリー:** 電話、SMS (2-71 ページ「メッセージの受信と返信」)
 - ・ **オーディオ:** Bluetooth® オーディオ (2-31 ページ「Bluetooth®」)
- ・ システム起動時の Bluetooth® 自動接続では、Bluetooth® 機器側の要求が優先されるため、“電話のみ”や“オーディオのみ”を本機で選択していても、“電話とオーディオ”として接続される場合があります。

Bluetooth® 機器との接続を切断する

1. Bluetooth®設定画面に表示されている Bluetooth®機器のリストから、現在接続している機器の名前を選択します。



2. “接続を解除”を選択します。

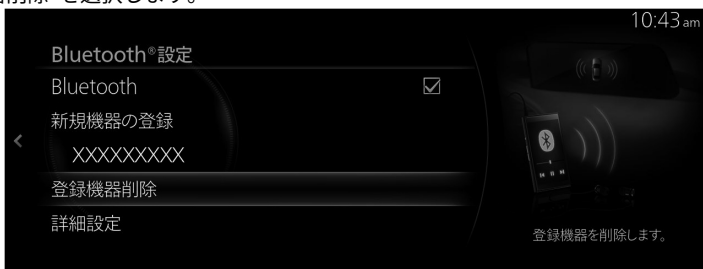


知識

Bluetooth®の接続設定を OFF にしても接続を切断できます。

Bluetooth® 機器を削除する

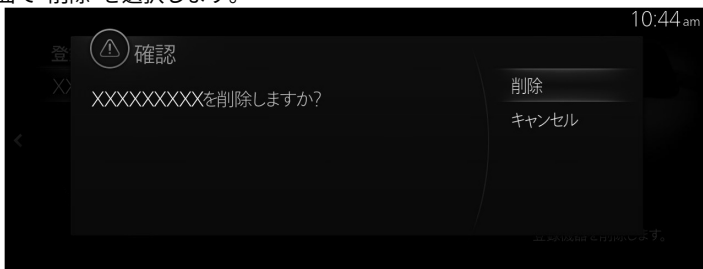
1. “登録機器削除”を選択します。



2. 登録を削除したい機器の名前を選択します。



3. “確認”画面で“削除”を選択します。



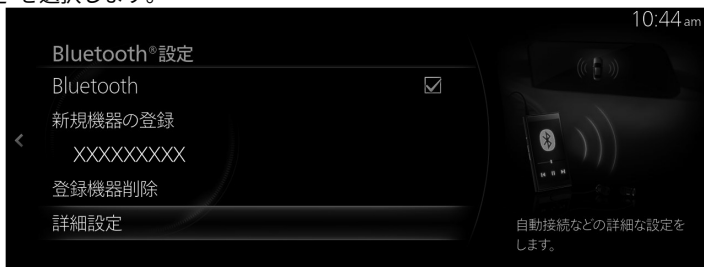
知識

- ・ Bluetooth®機器の登録を削除すると、削除した Bluetooth®機器の電話帳や通話履歴、ショートメッセージも削除されます。
- ・ Bluetooth®機器の登録を削除した場合、Bluetooth®機器でも「Mazda」を削除してください。

パスコードを変更する

ペアリングのときに使用するパスコードを次の手順で変更できます。

1. “詳細設定”を選択します。



2. “車両”を選択します。



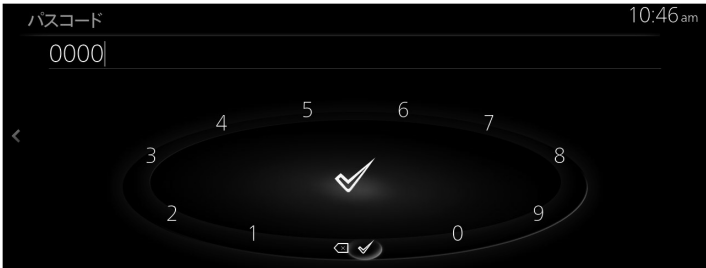
3. “パスコード”を選択します。



4. 新しいパスコードを入力します。



5. ✓ を選択します。



📖 知識

パスコードを変更しても、ペアリング済みの Bluetooth®機器の接続には影響ありません。

スマートフォン連携

スマートフォン連携の設定を行います。

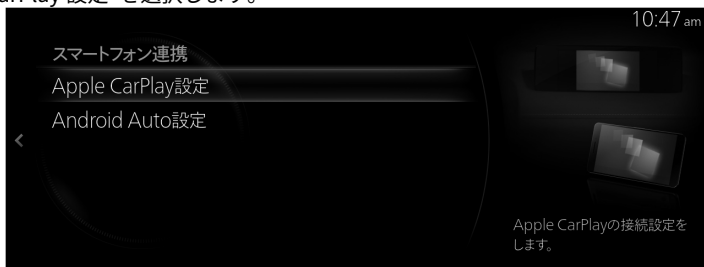
機能	説明
Apple CarPlay 設定	Apple CarPlay の接続設定をします。
Android Auto 設定	Android Auto の接続設定をします。

Apple CarPlay/Android Auto™ の接続設定を変更する

iPhone/Android スマートフォンごとに設定変更ができます。設定を反映するには、機器を接続し直す必要があります。

(例:Apple CarPlay の接続設定を変更する場合)

1. “Apple CarPlay 設定”を選択します。



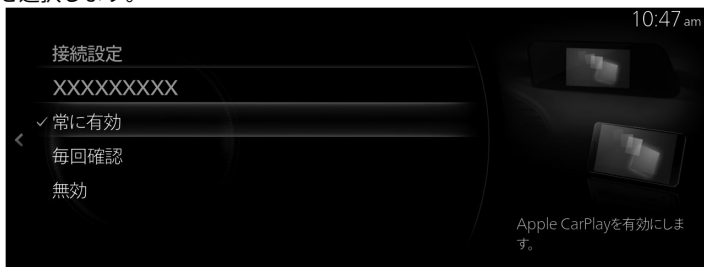
2. 現在登録されている iPhone の一覧から、設定変更をしたい機器の名前を選択します。



3. “接続設定”を選択します。



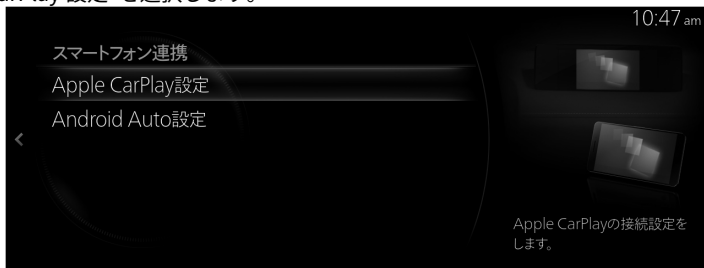
4. 接続方法を選択します。



Apple CarPlay/Android Auto™ の登録を削除する

(例: iPhone の登録を削除する場合)

1. “Apple CarPlay 設定”を選択します。



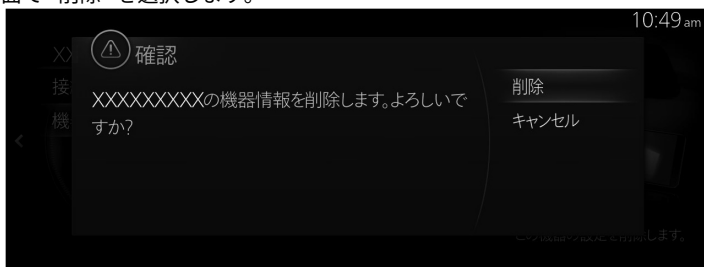
2. 現在登録されている iPhone の一覧から、登録を削除したい機器の名前を選択します。



3. “機器の削除”を選択します。



4. “確認”画面で“削除”を選択します。



3

その他機能

Apple CarPlay	3-2
Apple CarPlay*	3-2

Android Auto™	3-6
Android Auto™*	3-6

Apple CarPlay*

Apple CarPlay はマツダコネクで iPhone を操作して、通話、メッセージの送受信や、音楽を聴いたり、マップで目的地を調べることができます。また、Siri による音声操作が可能です。

警告

USB 端子に接続したコードが、チェンジレバー/セレクトレバーに絡まないようにする。
運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- プラグを接続した状態で、USB 端子の上やコンソールボックスのフタの上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。
- 接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります (ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください)。
- iPhone を車内に放置しないでください。炎天下では車内が高温となり、故障の原因になります。

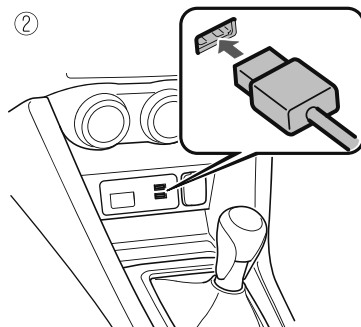
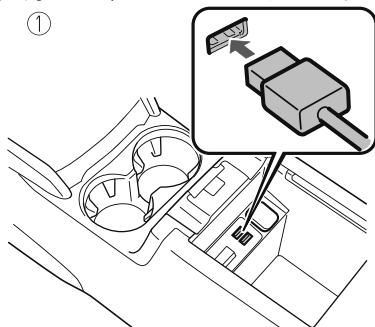
知識

- ・ ご使用前に、iPhone の取扱説明書をよくお読みください。
- ・ エンジン进行止めたままで、マツダコネクを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ・ プラグは USB 端子に確実に差し込んでください。

iPhone を接続する

(USB 接続の場合)

USB 端子に Apple 純正の接続コードを差し込み、iPhone を接続します。プラグの抜き差しは USB 端子の穴に対して垂直におこなってください。



1. コンソールボックス取り付けタイプ
 2. インストルメントパネル取り付けタイプ
- USB 端子の位置は車種により異なります。

知識

- ・ Bluetooth®接続中の iPhone を車両の USB 端子に接続すると、Apple CarPlay に切り替わります。Bluetooth®接続で使用していたアプリケーションは継続して使用することができます。ただし、Bluetooth®接続で使える機能と Apple CarPlay で利用できる機能はアプリケーションによって異なります。
- ・ Apple CarPlay 接続をするデバイスとして、iPhone を 5 台まで登録できます。
- ・ 接続している iPhone の接続設定を“無効”に設定しているときは、iPhone を車両の USB 端子に接続しても、Apple CarPlay は起動しません。Apple CarPlay を使用したいときは、設定を変更してください。
→2-83 ページ「通信 / モバイル機器連携」

(ワイヤレス接続の場合)

iPhone とマツダコネクトを Bluetooth®と Wi-Fi™を使って接続することで、Apple CarPlay をワイヤレスで使用できます。

知識

- ・ ワイヤレス接続と USB 接続とでは Apple CarPlay の機能に差はありません。
- ・ ワイヤレス接続している iPhone を USB ポートに接続すると、充電が行なわれます。

Apple CarPlay を初めて接続するとき

Apple CarPlay を初めて接続すると、Apple CarPlay の起動に関する確認画面が表示されます。



使用する: 毎回確認せずに起動します。

今後使用しない: 今後、現在接続している機器では起動しません。

今回のみ使用: 今回のみ起動します。

キャンセル: 今回は起動しません。

知識

“今回のみ使用”を選択した場合、次回エンジン始動時に再び確認画面が表示されます。ただし、エンジン停止からエンジン始動までの間隔が短い場合などは、確認画面が表示されないことがあります。

Apple CarPlay 画面を表示する

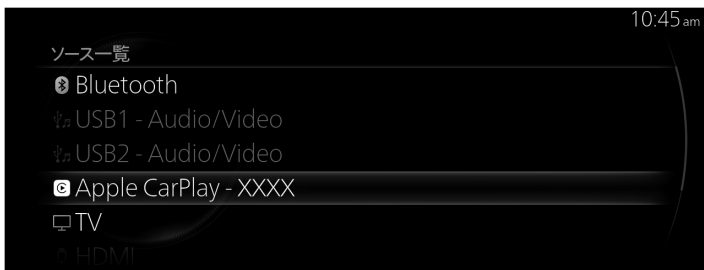


Apple CarPlay 接続中はマツダコネクトホーム画面に **Apple CarPlay** が表示されます。

Apple CarPlay 表示中に  を **Apple CarPlay** の方向にスライドする、またはホームボタンを押し続けると、Apple CarPlay 画面を表示します。

知識

ソース一覧画面の“Apple CarPlay”を選択することでも、Apple CarPlay 画面を表示できます (一部車種のみ)。



Apple CarPlay ホーム画面

Apple CarPlay のどの画面を表示していても、コマンダースイッチの  を押すと、Apple CarPlay のホーム画面を表示できます。



 を回す、またはスライドして操作したいアイコンを選択します。

 を押して選択しているアイコンのアプリケーションを起動します。

 知識

- ・ Apple CarPlay ホーム画面に表示されるアイコンやアイコンの表示位置は、接続した iPhone や iOS のバージョンにより異なる場合があります。

No.	アイコン	説明
1	利用可能な CarPlay のアプリケーション	Apple CarPlay のアプリケーションを起動します。 各アプリケーションの使用方法は、各アプリケーションのヘルプなどを参照してください。
2		マツダコネクトの画面にもどります。
3		Apple CarPlay のマップ画面と再生画面を表示します。

Apple CarPlay の便利な使い方

項目	操作方法
音声認識機能 (Siri) を起動する*1	次の方法で Siri を起動し、音声で Apple CarPlay を操作できます。 ・ オーディオリモートコントロールスイッチの  を押す。
NowPlaying 画面を表示する	Apple CarPlay で音楽再生中に、コマンダースイッチの  を押すと、Apple CarPlay の再生画面にもどります。
MAP 画面を表示する	Apple CarPlay でルート案内中に、コマンダースイッチの  を押すと、Apple CarPlay のマップ画面にもどります。

*1 Apple CarPlay 接続中はマツダコネクトの音声認識機能は使用できません。

Apple CarPlay を終了する

Apple CarPlay を終了するには、USB 端子から接続コードを抜くか、接続コードから iPhone を抜いてください。
Apple CarPlay 起動前に表示していた画面を表示します。また、Apple CarPlay 起動前に接続していた Bluetooth®機器が再接続されます。

Android Auto™*

Android Auto™とは、マツダコネクで Android™ スマートフォンを操作できるアプリケーションです。電話、メッセージ、音楽、マップなど Android Auto™対応のコンテンツを車両のオーディオで使用できます。

⚠ 警告

USB 端子に接続したコードが、チェンジレバー/セレクトレバーに絡まないようにする。
運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

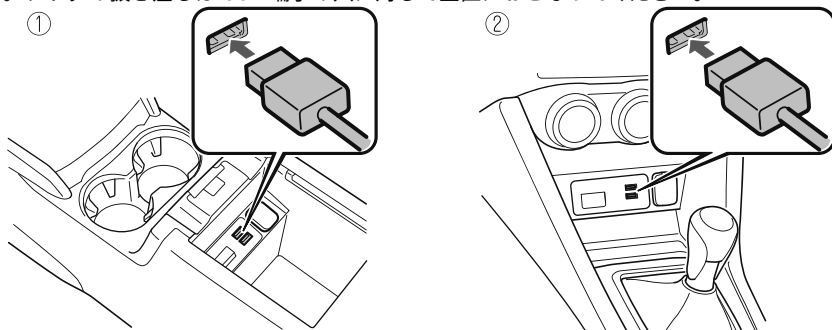
- プラグを接続した状態で、USB 端子の上やコンソールボックスのフタの上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。
- 接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります（ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください）。
- Android™ スマートフォンを車内に放置しないでください。炎天下では車内が高温となり、故障の原因になります。

📖 知識

- ・ ご使用前に、Android™ スマートフォンの取扱説明書をよくお読みください。
- ・ エンジンをつめたままで、マツダコネクを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ・ プラグは USB 端子に確実に差し込んでください。

Android™スマートフォンを接続する

USB 端子に Android™ スマートフォン純正の接続コードを差し込み、Android™ スマートフォンを接続します。プラグの抜き差しは USB 端子の穴に対して垂直におこなってください。



1. コンソールボックス取り付けタイプ
 2. インストルメントパネル取り付けタイプ
- USB 端子の位置は車種により異なります。

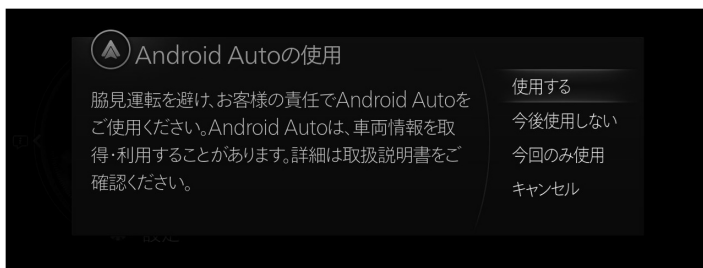
知識

- Android Auto™を使用するには、Bluetooth®を有効にする必要があります。
Android™スマートフォンを Android Auto™モード接続することができます。
Android™スマートフォンは 5 台まで登録することができます。
- 接続している Android™スマートフォンの接続設定を“無効”に設定しているときは、Android™スマートフォンを車両の USB 端子に接続しても、Android Auto™は起動しません。Android Auto™を使用したいときは、設定を変更してください。
→2-83 ページ「通信 / モバイル機器連携」

Android Auto™を初めて接続するとき

Android Auto™を初めて接続すると、Android Auto™の起動に関する確認画面が表示されます。

A タイプ



使用する: 毎回確認せずに起動します。

今後使用しない: 今後、現在接続している機器では起動しません。

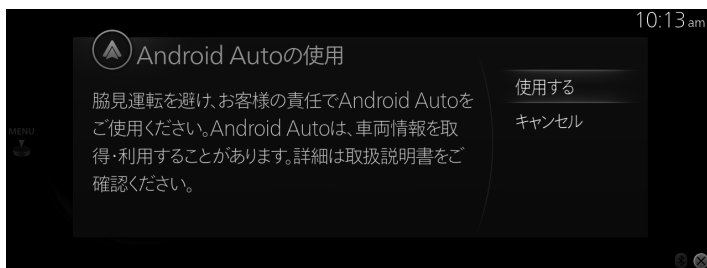
今回のみ使用: 今回のみ起動します。

キャンセル: 今回は起動しません。

知識

“今回のみ使用”を選択した場合、次回エンジン始動時に再び確認画面が表示されます。
ただし、エンジン停止からエンジン始動までの間隔が短い場合などは、確認画面が表示されないことがあります。

B タイプ



使用する: Android Auto™を起動します。

キャンセル: Android Auto™を起動しません。

Android Auto™画面を表示する

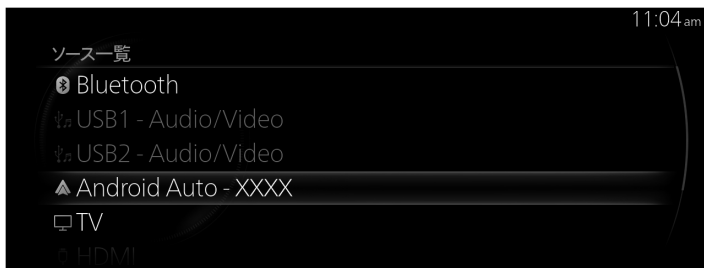


Android Auto™接続中はマツダコネクトホーム画面に  が表示されます。

 表示中に  を  の方向にスライドする、またはホームボタンを押し続けると、Android Auto™画面を表示します。

知識

ソース一覧画面の“Android Auto”を選択することでも、Android Auto™画面を表示できます(一部の車種のみ)。



Android Auto™画面

Android Auto™のどの画面を表示していても、コマンドスイッチのを押すと Android Auto™のホーム画面を表示できます。

マツダコネクトの画面から Android Auto™の画面に移動したい場合は、コマンドスイッチのを長押ししてください。



を回す、またはスライドしてアイコンを選択します。

を押して選択しているアイコンのアプリケーションを起動します。

知識

- Android Auto™のホーム画面に表示されるメディアは、接続した Android™スマートフォンの使用状態やバージョンにより異なる場合があります。

No.	アイコン	説明
1	—	各アプリケーションの情報を表示します。起動しているアプリケーションやその状態により表示される内容は異なります。
2		Android Auto™ のホーム画面を表示します。
3		マツダコネクトの画面にもどります。
4		Android™スマートフォンからの通知を表示します。
5		Android Auto™の音声認識を起動します。

Android Auto™の便利な使いかた

項目	操作方法
音声で操作する*1	次のどちらかの方法で音声認識モードが起動し、音声にて Android Auto™を操作できます。 ・  を右にスライドして  アイコンを選択する。 ・ オーディオリモートコントロールスイッチの  を押す。
NowPlaying 画面を表示する	Android Auto™で音楽再生中に、コマンドースイッチの  を押すと、Android Auto™の再生画面にもどります。
MAP 画面を表示する	Android Auto™でルート案内中に、コマンドースイッチの  を押すと、Android Auto™のマップ画面にもどります。
マツダコネクットの画面に戻る	コマンドースイッチの  を長押しする。

*1 Android Auto™接続中はマツダコネクットの音声認識機能は使用できません。

Android Auto™を終了する

Android Auto™を終了するには、USB 端子から接続コードを抜くか、接続コードから Android™スマートフォンを抜いてください。

4

トラブル

トラブルシューティング.....	4-2
トラブルシューティング.....	4-2

トラブルシューティング

AM/FM に関する問題

問題	原因	解決方法
ステアリングスイッチの  を押しても反応しない	お気に入りの登録した項目を順番に選局していく機能です。お気に入りの登録件数が0件の場合は操作が無効となります。	お気に入りの登録してください。 → 1-15 ページ「お気に入り」

USB オーディオ、Bluetooth®オーディオに関する問題

問題	原因	解決方法
(USB オーディオ) ・音楽再生ができない	マストレージに対応していない USB 機器を接続している。	マストレージに対応した USB 機器を接続してください。
	USB ハブを使用している。	USB ハブは使用せずに接続してください。
	マツダコネクトに対応していないファイルシステムでフォーマットされた USB 機器を接続している。	FAT16、および FAT32 でフォーマットされた USB 機器を接続してください。
・音楽ファイルが見つからない	フォルダ階層が 8 階層より深くなっている。	本機では 8 階層より深い階層にあるファイルは表示や再生ができません。ファイルは 8 階層以内に保存してください。

Apple CarPlay に関する問題

問題	原因	解決方法
USB 端子に Apple 純正の接続コードを差し込み iPhone を接続したが、Apple CarPlay が起動できない、または“接続エラーが発生しました。”のエラーメッセージが表示される	マツダコネクと iPhone 間の通信に失敗している。	一度 USB 端子から接続コードを取り外し、再度接続を試みてください。
	接続している iPhone の接続設定を“無効”に設定している。	接続設定を“使用する”または“今回のみ使用”に設定してください。 → 2-83 ページ「通信 / モバイル機器連携」
	既に他の iPhone で Apple CarPlay を起動している。	他の iPhone で Apple CarPlay を起動中の場合は、後から接続した iPhone では Apple CarPlay を使用できません。一度 Apple CarPlay を終了して、Apple Carplay を使用したい iPhone に接続し直してください。
使用したいアプリケーションのアイコンが Apple CarPlay のホーム画面に表示されない	Apple CarPlay に対応しているアプリケーションのみ画面に表示されます。	アプリケーションの提供元にお問い合わせください
Siri が音声コマンドや連絡先をうまく認識しない、誤認識する	考えられる原因は次の通りです。 1. ネットワークの接続不良 2. ロードノイズ/エアコンの風の音	次の方法を試して解決しない場合は、Apple のサポートサイトをご確認いただくか、Apple 社にお問い合わせください。 1. 一度、ハングアップボタン  を押して Siri を終了してください。再度 Siri を使用する場合は、ネットワーク接続が良好になるまでお待ちください。 2. 大きくはっきりと話すと認識率は向上します。
Bluetooth®オーディオと Apple CarPlay とで音量に差がある	—	Bluetooth®オーディオの音量をご確認ください。 Bluetooth®オーディオは、機器側で音量を調節できるものがあります。

問題	原因	解決方法
USB 端子に Apple 純正の接続コードを差し込み iPhone を接続すると、毎回 Apple CarPlay が起動してしまう (Apple CarPlay で起動したくない iPhone がある)	接続している iPhone の接続設定を“使用する”に設定していない。	接続設定を“無効”に設定してください。 →2-83 ページ「通信 / モバイル機器連携」

Android Auto™に関する問題

問題	原因	解決方法
USB 端子に Android™純正の接続コードを差し込み Android™スマートフォンを接続したが、Android Auto™モードが起動できない	Android™スマートフォンに Android Auto™アプリケーションがダウンロードされていない。	車両で Android Auto™を操作するためには、Android™スマートフォン内に Android Auto™アプリケーションが必要で す。Android Auto™アプリケーションは Google Play™からダウンロードしてください。
USB 端子に Android™純正の接続コードを差し込み Android™スマートフォンを接続したが、Android Auto™モードが起動できない、または“Bluetooth 接続エラーのため、Android Auto を終了しました。”のエラーメッセージが表示される	マツダコネクと Android™スマートフォン間の通信に失敗している。	一度 USB 端子から接続コードを取り外し、再度接続を試みてください。
	他の機器が Bluetooth®接続しているため、Android™スマートフォンとペアリングができない。	他の機器の Bluetooth®接続を切断し、一度 USB 端子から接続コードを取りはずしてから再度接続してください。
	接続している Android™スマートフォンの接続設定を“無効”に設定している。	接続設定を“使用する”または“今回のみ使用”に設定してください。 →2-83 ページ「通信 / モバイル機器連携」
	既に他の Android™スマートフォンで Android Auto™モードを起動している。	他の Android™スマートフォンで Android Auto™モードを起動中の場合は、後から接続した Android™スマートフォンでは Android Auto™モードを使用できません。一度 Android Auto™モードを終了して、Android Auto™モードを使用したい Android™スマートフォンに接続し直してください。

問題	原因	解決方法
使用したいアプリケーションのアイコンが Android Auto™ モードのホーム画面に表示されない	Android Auto™に対応しているアプリケーションのみ画面に表示されます。	アプリケーションの提供元にお問い合わせください。
- 音声認識がうまくいかない、誤認識する - 音声認識の反応が遅い、または動かない	—	マイクの接続不良や故障が考えられます。マツダ販売店にご相談ください。
Bluetooth®オーディオと Android Auto™とで音量に差がある	—	Bluetooth®オーディオの音量をご確認ください。Bluetooth®オーディオは、機器側で音量を調節できるものがあります。
USB 端子に Android™純正の接続コードを差し込み Android™スマートフォンを接続すると、毎回 Android Auto™モードが起動してしまう (Android Auto™モードで起動したくない Android™スマートフォンがある)	接続している Android™スマートフォンの接続設定を“使用する”に設定している。	接続設定を“無効”に設定してください。 →2-83 ページ「通信 / モバイル機器連携」

Bluetooth®機器ペアリング、接続に関する問題

- Bluetooth®は、使用する Bluetooth®機器の設定によっても動作が変化します。
- 正常に使用できなくなった場合は Bluetooth®機器の取扱書も参照してください。

問題	原因	解決方法
ペアリングができない	—	Bluetooth®機器がマツダコネクタに対応しているか web サイトで確認してください。 Bluetooth®機器の設定で Bluetooth®と Find Mode ^{*1} が ON になっているのを確認してください。また、機内モードになっていないことを確認してください。Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にしてください。その後ペアリングを行ってもペアリングできない場合は、マツダ販売店にご相談ください。

問題	原因	解決方法
再ペアリングできない	本機または Bluetooth®機器に登録されているペアリング情報を誤認識している。	次の手順でペアリングを実施します。 1. マツダコネクト上で対象の Bluetooth®機器を消去する。 2. Bluetooth®機器の Bluetooth®検索画面から「Mazda」を消去する。 3. 再度ペアリングを行なう。 上記手順でもペアリングできないときは、Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。それでもペアリングできない場合は、マツダ販売店にご相談ください。
自動接続していたが、突然自動接続しなくなった	Bluetooth®機器によっては Bluetooth®や FindMode*1 が時間経過により自動で OFF になる場合があります。	・ Bluetooth®と FindMode*1 が ON になっている事を確認し、再度接続してください。 ・ Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。
エンジン始動で自動接続しない	Bluetooth®機器の OS がアップデートされた際に、登録されているペアリング情報が更新されている。	次の手順でペアリングを実施します。 1. マツダコネクト上で対象の Bluetooth®機器を消去する。 2. Bluetooth®機器の Bluetooth®検索画面から「Mazda」を消去する。 3. 再度ペアリングを行なう。 上記手順でもペアリングできないときは、Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。それでもペアリングできない場合は、マツダ販売店にご相談ください。
	Bluetooth®機器によっては、Bluetooth®や FindMode*1 が時間経過により自動で OFF になる場合があります。	・ Bluetooth®と FindMode*1 が ON になっている事を確認し、再度接続してください。 ・ Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。

問題	原因	解決方法
接続が途切れる	Bluetooth®機器を後部座席のカバンの中やズボンの後ろポケットの中、電波が遮断されやすい場所に置いていませんか？	・ Bluetooth®機器を電波が遮断されにくい場所から移動させてください。 ・ Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。

*1 Bluetooth®機器の存在が、外から検知されるようにするための設定

音声認識に関する問題

問題	原因	解決方法
・ 音声認識がうまくいかない ・ 数値を誤認識しやすい	・ 話し方がゆっくりすぎませんか？ ・ 話し方が強すぎませんか？(怒鳴っていませんか？) ・ マイクにエアコンの風などが当たっていませんか？ ・ 標準でない表現(方言など)で話していませんか？	・ 左の項目に注意して話してください。また、数値を連続して話す場合、数値間に間を置かずにつなげて話すと同認識率は向上します。 ・ Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。
	マイクに不具合がある。	マイクの接続不良や故障が考えられます。マツダ販売店にご相談ください。
音声ガイダンス中に音声コマンドを発話したとき、音声認識がうまくいかない	ガイダンス音量の設定値が大きいです。	ガイダンス音量を 50 レベル以下に設定すると認識率が向上します。

問題	原因	解決方法
電話帳の名前をうまく認識しない	電話帳に登録されているデータが認識しにくい状態になっています。	次の対応を行っていただくと、認識率が向上します。 ・ 短い名前を避け、長い名前を適用する。 (名前は長いほど認識率が上がります。「ママ」や「パパ」などの短い文言は避けていただくと認識しやすくなります)
	Bluetooth®機器の接続に問題がある。	ペアリングの状態を確認し、接続に問題がある場合は、本項目の「Bluetooth®機器ペアリング、接続に関する問題」を確認してください。
	電話帳にふりがな情報が登録されていない。	機器の電話帳にふりがな情報を追加し、電話帳を再ダウンロードしてください。
ガイドランスをスキップしたい	—	トークボタンを押すことにより、ガイドランスはいつでもスキップできます。

電話に関する問題

問題	原因	解決方法
通話開始時、通話相手に車両のノイズが聞こえる	通話開始から約 3 秒間は、Bluetooth®ユニットのノイズ抑制機能が通話環境の適応に時間が必要なため、通話相手にノイズが聞こえ、声が通りにくいことがあります。	Bluetooth®機器に問題はありません。
相手の声が聞こえない/小さい	ボリュームがゼロ、または小さくなっていますか？	通話音量を上げてください。
電話がかかってこない	コミュニケーション設定の「着信通知」をオフにしていますか？	「着信通知」をオンにしてください。

メッセージに関する問題

問題	原因	解決方法
連絡先が表示できない	Bluetooth®機器側がマツダコネクトへのダウンロードを許可していない。	Bluetooth®機器側でダウンロードに対する許可操作をしてください。
メッセージリストが表示できない	Bluetooth®機器側がマツダコネクトへのダウンロードを許可していない。	- Bluetooth®機器側でダウンロードに対する許可操作をしてください。 - Apple 製品を接続している場合は、Apple 製品側でダウンロードに対する許可操作をした後、再接続をしてください。再接続後に受信したメッセージのみが表示されます。

その他の問題

問題	原因	解決方法
Bluetooth®機器に表示されるバッテリーの残量と、センターディスプレイに表示されるバッテリーの残量が異なる	Bluetooth®機器からの、残量値情報と本機の表示スケールにずれがあるためです。	—
車両で通話を実行時、着信/発信履歴が電話番号で更新されるが、名前が出ない	電話帳に通話相手先が登録されていません。	番号が電話帳に登録されているば、エンジンを再始動すると、電話帳の名前で着信/発信履歴が更新されます。
着信/発信履歴が Bluetooth®機器と車両間で同期しない	Bluetooth®機器によっては、エンジン始動後に、着信/発信履歴をダウンロードすることがあります。	Bluetooth®機器を操作する必要があります。 Bluetooth®機器の取扱書を参照してください。
マツダコネクトの画面が表示されない	マツダコネクトの電源が OFF になっている。	コマンダースイッチの音量ノブを長押しして、マツダコネクトの電源を ON にしてください。

MEMO

A

Android Auto™..... 3-6

Apple CarPlay.....3-2

B

Bluetooth®

 設定..... 2-77

お

オーディオ..... 2-10

 AM.....2-27

 Bluetooth®.....2-31

 FM.....2-23

 TV.....2-51

 USB1 Video/USB2 Video.....2-45

 USB1 Audio/USB2 Audio.....2-37

 交通情報.....2-21

お気に入り.....1-15

き

基本操作..... 1-6

 オーディオリモートコントロールスイッチ
 による操作.....1-10

 音声認識機能による操作.....1-12

 コマンダースイッチによる操作..... 1-7

こ

コミュニケーション..... 2-57

Bluetooth®ハンズフリー.....2-58

 設定..... 2-77

し

情報

 i-DM..... 2-2

 車両ステータスモニター.....2-8

 燃費モニター.....2-3

せ

設定.....2-80

 通信 / モバイル機器連携..... 2-83

と

トラブルシューティング..... 4-2

な

ナビゲーション.....2-79

ま

マツダコネクトとは?.....1-2

マツダコネクトをご使用の前に..... 1-21

